

令和6年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

知的障害特別支援学校高等部と専門学校の有機的連携の開発と実証

事業成果報告書

令和7年3月

学校法人仙台北学園

仙台リハビリテーション専門学校

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、学校法人仙台北学園仙台リハビリテーション専門学校が実施した令和6年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の成果をとりまとめたものです。

目次

■事業活動報告	2
1. 事業の趣旨・目的	3
2. 学習ターゲット・めざす人材像	3
3. 事業の実施体制	4
3.1. 実施体制.....	4
3.1.1. 構成機関.....	4
3.1.2. 実施委員会.....	5
3.1.3. 分科会	5
3.1.4. コーディネーター	5
3.1.5. 事務局	5
3.2. 各機関の役割・協力事項.....	6
3.2.1. 教育機関.....	6
3.2.2. 行政機関.....	6
3.2.3. 団体・医療機関・企業等	6
3.2.4. コーディネーター	7
3.2.5. 事務局	7
4. 事業に取り組む背景	8
5. 事業計画の概要（6 年）	13
6. 今年度の取り組み	16
6.1. 実証講座の実施・検証.....	16
6.1.1. 概要	16
6.1.2. 実証講座の実施実績.....	17
6.1.3. 実証講座の結果要旨.....	39
6.2. 高等部・高等学園間の連携支援の実施	52
6.2.1. 実証講座の相互参観・意見交換の実施	52
6.2.2. 教職員対象の講座の実施	52
6.2.3. 生徒の保護者による講座の参観・保護者対象の講座の実施.....	52
6.3. 教育プログラムの開発.....	52
6.3.1. カリキュラム策定の基本方針（2023 年度版）	52
6.3.2. カリキュラム（2023 年度版）	52
6.3.3. 教材開発の基本方針.....	56
6.3.4. 開発教材の概要	56
6.3.5. 教材開発の意義・活用方策	60
6.4. 学習支援・教育支援環境の構築	60
■巻末資料.....	62

■事業活動報告

1. 事業の趣旨・目的

本事業では、知的障害特別支援学校高等部と専門学校が連携して5年間の一貫型職業教育プログラムを開発・実施する。

知的障害特別支援学校に在籍する児童・生徒は年々増加の傾向にあるが進学率は低く、その理由の1つが進学先となる高等教育機関が非常に少ないことによる。こうした現状の中、高等部卒業後の進学に対するニーズは過去の調査等で確かめられており、進学先の整備は今後の課題である。

一方、高等部では卒業後の経済的自立を見据えて様々な職業教育が実施されており、多くの成果を生み出しているものの就職は容易ではなく、また就職後の職場定着は芳しいとはいえないのが実状である。知的障害者の経済的自立を促進する上で職業教育のさらなる質向上や充実化も重要な課題である。

進学先の整備及び職業教育の充実化というこれらの課題の解決に向けて、本事業では特別支援学校→専門学校という5年間の一貫型職業教育プログラムを開発・実施する。

ここでは職業人としての基礎を学ぶプログラムから、生徒の潜在的な可能性を広げることとを狙いとして、雇用ニーズが高い「介護」を含む複数の職業分野の職業教育へと段階的に発展するプログラムを提供する。これにより、職業教育の充実化を図ると共に、専門学校という進学の実選択肢を増やしていくことを目的とする。

2. 学習ターゲット・めざす人材像

○高校及び専門学校で共有する目標・人材像・ビジョン

次の能力を有する人材を養成する。（進学しない生徒も以下の基礎力を習得する）

- 1) 就労に必要な職業能力
- 2) 就労により経済的自立が達成できる力
- 3) 周囲に依らず日常的な身の回りのことを行う自立的生活力
- 4) 社会環境に適応し地域社会に貢献できる力

○高校卒業段階までに目指す人材像・ビジョン

上記1)～4)の基礎力を備えた人材

○専門学校卒業段階までに目指す人材像・ビジョン

上記1)の就労に必要な職業能力として、「介護」等の専門分野に係わる専門知識・技能を身に付けた人材

3. 事業の実施体制

3.1. 実施体制

3.1.1. 構成機関

本事業を推進する組織として、実施委員会を産官学の連携により編成した。実施委員会は学校法人仙台北学園仙台リハビリテーション専門学校を代表機関とし、特別支援学校高等部（知的障害）、行政機関（宮城県・福島県）、福祉医療分野の専門学校、福祉医療関連の機関・企業等で構成した。

図表 3-1 実施委員会の構成機関

名 称	所在地
宮城県立支援学校岩沼高等学園	宮城県
宮城県立支援学校小牛田高等学園	宮城県
宮城県立支援学校女川高等学園	宮城県
福島県立大笹生支援学校	福島県
福島県立石川支援学校	福島県
宮城県教育庁特別支援教育課	宮城県
福島県教育庁特別支援教育課	福島県
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 宮城県障害者就職センター	宮城県
学校法人仙台北学園仙台リハビリテーション専門学校	宮城県
学校法人こおりやま東都学園郡山健康科学専門学校	福島県
学校法人智帆学園琉球リハビリテーション学院	沖縄県
学校法人北杜学園仙台医療福祉専門学校	宮城県
学校法人福島学園専門学校倉敷リハビリテーション学院	岡山県
学校法人常葉大学	静岡県
学校法人敬心学園職業教育研究開発センター	東京都
学校法人大美学園大阪美容専門学校	大阪府
宮城県リハビリテーション専門職協会	宮城県
医療法人上野医院	福岡県
株式会社フクシア	福島県
株式会社ジャパンマネジメント	福島県
株式会社良創夢	福岡県
株式会社奏音	広島県
株式会社 PCL	宮城県
社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	宮城県

3.1.2. 実施委員会

実施委員会は本事業を推進する主体として、事業計画に基づき、事業内容の具体化方針や実現方法、スケジュール等の重要事項を検討・決定する役割を担った。さらに実施委員会の下部機関として設ける分科会に対して業務の指示、結果の評価と助言・改善指示等を行った。また、事業成果の活用、特別支援学校や専門学校等への周知、普及促進に係る方策を主導した。

3.1.3. 分科会

実施委員会の決定・指示の下、一貫型職業教育プログラムの開発、実証講座の準備・実施・検証等を行う2つの分科会「開発分科会」「実施検証分科会」を編成した。活動の成果は実施委員会に報告し改善等を図った。

開発分科会はカリキュラム策定や教材開発等を担当した。実施検証分科会は実証講座の準備・実施・検証を担当した。各分科会のメンバーは、実施委員会の構成機関に所属する適任者により構成した。

3.1.4. コーディネーター

コーディネーターは、事業全体の調整、進捗管理、専門学校と特別支援学校、行政機関、施設、企業等の橋渡し等を担当した。

3.1.5. 事務局

会議運営や会計業務など事業の実施に係る事務的な業務全般を担当する事務局を設置した。

3.2. 各機関の役割・協力事項

3.2.1. 教育機関

(1) 支援学校高等部及び高等学園

宮城県立の支援学校である岩沼高等学園、小牛田高等学園、女川高等学園、福島県立の支援学校である大笹生支援学校、石川支援学校の各校は、高等部における職業教育の実施実績や課題等に関する情報を提供した。また、一貫型職業教育プログラム（高等部3年間）の学習内容等に対する要望や改善提案等を行った。さらに、高等部生徒に対する実証講座の実施・検証に協力した。

(2) 専門学校・大学

仙台リハビリテーション専門学校は実施委員会の代表機関として、本事業全体の推進を管理統括した。その過程において、過去の文部科学省委託事業「知的障害者を対象とする社会生活・職業を学ぶ学科の構築と実証事業」（平成30～令和2年度）の取組で得られた知見・実績やリハビリテーション教育のノウハウの活用を図った。

福祉医療分野の専門学校・大学はその専門的観点から、一貫型職業教育プログラムのカリキュラムや学習内容、教育方法などに関する知見・ノウハウ等を提供し、プログラムの開発に協力した。さらに、介護福祉学科を設置している専門学校は、高等部での実証講座を担当する他、卒業後の進学先として事業に協力した。

3.2.2. 行政機関

宮城県及び福島県の教育庁特別支援教育課は、各県における支援学校高等部・高等学園の現状や自治体・行政の取り組み状況等に関する情報を提供し、専門学校と支援学校高等部及び高等学園の連携調整や高・専のカリキュラムの接続性等に対する助言などについて協力した。

3.2.3. 団体・医療機関・企業等

専門分野「介護」に係る学習内容に関する知見、介護実務の現状や人材に求められる能力・態度等に関する知見、支援学校高等部及び高等学園及び専門学校の職業教育に対する要望等を提供した。また、見学実習や実務者講師の派遣などに協力する他、卒業生の就職先としても協力を依頼した。

3.2.4. コーディネーター

事業活動の全体調整・進捗管理・体制構築、広報、効果検証、支援学校高等部及び高等学園・企業等（就職先）・専門学校・県教育庁の橋渡しなどを行い、実施委員会と共に事業の推進役を担った。

コーディネーターは支援学校の元校長であり、その経験・見識に基づき、一貫型職業教育プログラムの内容や指導・評価方法等について助言した。

3.2.5. 事務局

実施委員会・分科会の会議運営、会計業務、支援学校高等部及び高等学園と専門学校の連携調整などコーディネーターの活動支援、外注管理、事業成果物の取りまとめなど事務的業務全般を担当した。また、実施委員会・分科会の活動・検討結果に基づき、定型業務の一部について、外部企業の協力を得るなどして教育プログラムの開発・実証講座実施等の取りまとめを担当した。

4. 事業に取り組む背景

本事業の背景、取り組むことの意義・ねらいについて、その要点を以下に説明する。

●年々増加の傾向にある知的障害特別支援学校の児童・生徒数

知的障害特別支援学校に在籍する児童・生徒の人数が年々増え続けている。平成 20 年度の 9.7 万人から平成 30 年度は 13 万人と増えており、視覚障害や肢体不自由など他の障害者がほぼ横ばいであるのとは対照的である（文部科学省「学校基本調査」）。この傾向は今後もしばらく続くと予測されており、各自治体等において、知的障害特別支援学校の教育環境の整備や教育体制・内容の一層の充実化が喫緊の課題となっている。

●知的障害特別支援学校高等部の課題 キャリア教育・職業教育の充実化

知的障害特別支援学校高等部（以下、高等部）では、職業学科・普通科のいずれにおいても、卒業直後からの社会的・職業的な自立に向けて、専門教科によるキャリア教育・職業教育が重要な位置付けとなっている。具体的には、卒業生の就職実績等に基づき、サービス業、小売・卸売、食品製造・加工、医療・福祉等の職業に関する知識や技能、職業人としての態度を養う教育が行われている。学内での授業だけでなく、企業等の学外での職場実習も実施されており、教育課程の 1 つの柱を構成している。

●高等部単独での取り組みの難しさ 専門学校との連携の必要性

こうした職業教育のなお一層の充実化は高等部の課題だが、高等部の多くは普通科であり、職業学科であっても高等部 1 校単独で職業教育を実践することには難しさがある。この点について、専門学校の教員や企業・施設等の実務者が高等部で授業を行うことで充実化を図っていくことは有効策である。実際のところ、宮城県内の高等部（岩沼高等学園、小牛田高等学園、女川高等学園）にヒアリングした結果、専門学校と連携した職業教育への具体的な要望が確かめられている。

●「進学」という進路の現状

高等部卒業後の進路は全国平均でみると「社会福祉施設等入所・通所」が約 60 % と最も多く、これに次ぐのが「一般就職」の約 35 % となっている。これに対して「進学」はわずか 0.4 % と 1 割に満たない（文部科学省「学校基本調査」）。進学が少ないのは進学先が非常に限られていることが大きな要因の 1 つである。具体的には、高等部本科の進学先となる専攻科を設置している特別支援学校は全国で 9 校しかない。知的障害者に限らず、職業人として社会で働く上で、しっかりした職業教育は不可欠であり、その意味において知的障害者の専門学校への進学が少ないということ自体が大きな課題である。

●進学という進路に対する潜在的なニーズとその対応の必要性

仙台リハビリテーション専門学校は、2018 年度から 3 年間に亘り文部科学省委託事業として高等部卒業後の進学先となる「社会生活・職業を学ぶ学科」の構築に係る取り組みを進めてきた。その活動の一環として実施した全国調査では、高等部の半数近くが卒業後の進路として「進学が必要」と回答している¹。また、全国障害者問題研究会の調査（障がい者の高等部卒業後の教育年限延長に関する意識の調査研究）においても、保護者の約 7 割が「進学」を求めていることが報告されているなど、進学に対する潜在的なニーズは確実にあると考えられる。

●進学先としての専門学校 職種教育のさらなる充実に向けて

高等部と連携して専門学校が職業教育プログラムを提供することで、より一層の職業理解や技能の修得等の教育効果が期待できる。さらに潜在的な進学ニーズを踏まえると、連携教育の結果として、職業についての学びを継続したいと考える生徒、続けさせたいと思う保護者が現れることは十分に考えられることである。高等部卒業後の選択肢の 1 つとして「専門学校への進学」を示すことで、こうした生徒の継続的な学びのニーズや保護者の要望に応えることができる。

●学ぶ専門分野は「介護福祉」

進学後の専門分野として「介護福祉」を設定する。その理由は、人材不足が慢性化している介護福祉の実務現場において、近年知的障害者に対する雇用ニーズが高く、実際に介護福祉施設等への就職実績が増えていること、一部の特別支援学校高等部においても介護福祉に係る基礎的な職業教育を実施し、一定の教育成果が生まれているからである。また、清掃などバックヤード業務のような定型的な作業から生活介助まで能力に応じて従事できるという仕事上の特性もあり、進路として適切であると考えられる。

昨今では介護人材の質が問われる虐待等の事例もあるが、専門学校でしっかりと専門知識と技術を学び、専門職としての心がまえ・マインドを身に付けた上で就職できることの重要性は非常に高い。これは、就職後の職場定着の安定化にもつながるものと期待できる。

●知的障害者が介護福祉に進むことの意義・狙い 恩恵を「授ける」職業人へ

福祉とは「すべての人々の幸福」を意味するものであり、「幸福とは自分なりの幸せを考え、福祉とは他者に寄り添いながら人の幸せを考える」ということができる。つまりこれは、障害者だから人から恩恵を受ける方ではなく、障害者自身も人へ恩恵を授けることができ

¹ 学校法人仙台北学園仙台北リハビリテーション専門学校「知的障害者を対象とする社会生活・職業を学ぶ学科の構築と実証 事業成果報告書」（2018～2020 年度）

ることを知ることでもある。それは、障害者が生きやすい社会は、必ずや健常者にとっても生きやすい社会であろうことを意味する。

介護福祉分野の職業人として仕事に従事することにより、障害者自身が恩恵を受けることができる—これが本事業において就職・社会的な活動の場として、介護福祉を選択する狙いでもある。

●生徒の潜在的な可能性を広げることも重要

その一方で、福祉以外の専門分野についても教育プログラムに取り入れていく必要がある。その理由は、高等部の段階においては、生徒の持っている潜在的な可能性を広げるべく、生徒自らが将来の進路を探ることを支援することも重要だからである。具体的には、各校の要望や生徒の状況に応えながら、販売やサービスなどといったこれまでの就職実績も踏まえて内容を検討するなどの方策が適当である。

●計5年間の一貫・連続した職業教育の構築～進学しない生徒にも大きなメリットを

専門学校も高等部卒業生を受け入れる体制をしっかりと整備する必要がある。高等部と連携した職業教育の実践経験を通して、専門学校は知的障害者への理解を深め、障害に応じた適切な職業教育の内容や方法を開発すると共に、そのノウハウを専門課程の教育の中に落とし込んでいく必要がある。これにより高等部3年間と専門学校2年間、トータル5年間の一貫した職業教育プログラムが具体化されることになる。

また、専門学校への進学が難しい生徒にとっても、高等部の3年間に充実した職業教育を受けられることのメリットは大きい。社会に出て職業人として働き続ける上での基盤となる能力が培われるからである。

●高等部・専門学校の教育の課題～低い職場定着率

知的障害者の職場定着率（就職1年後）は68.0%という調査結果があるが、これは障害者を含む常用労働者全体の1年間の平均離職率14～17%程度と比べて高いとは言いがたい水準にある²。知的障害者に対する効果的な職業教育の実践と共に、就職後に継続して働くことができる素地を培うことも学校教育の課題となっている。

離職の理由は様々ではあるが、「高等部→専門学校」のトータル5年間の一貫・連続した職業教育はこうした課題に対しても改善の効果が見込める。5年間の学びを通して、職業・職種の専門的な知識や実務的な技能、職業人としての基本的な態度・姿勢を身につけることで、職業や職場への適応力は確実に高まるはずである。その結果、早期に離職する者の減少にもつながるものと期待できる。

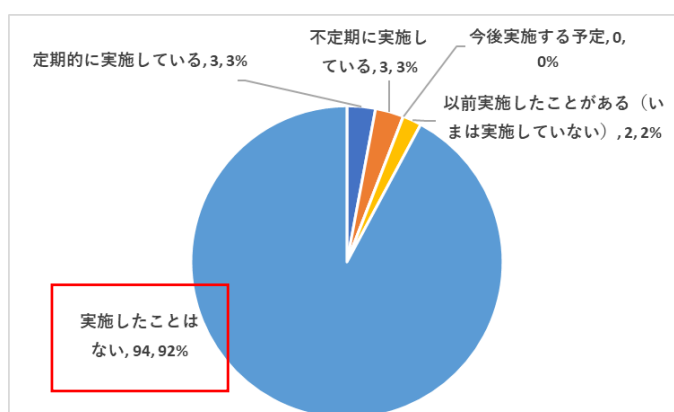
² 高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業総合センター「障害別にみた職場定着率の推移と構成割合」（2017年）

またさらなる取り組みとして、高等部と専門学校が連携して、就職してからの継続的な就労、キャリア形成をフォローアップしていく体制を構築・運用していく必要がある。

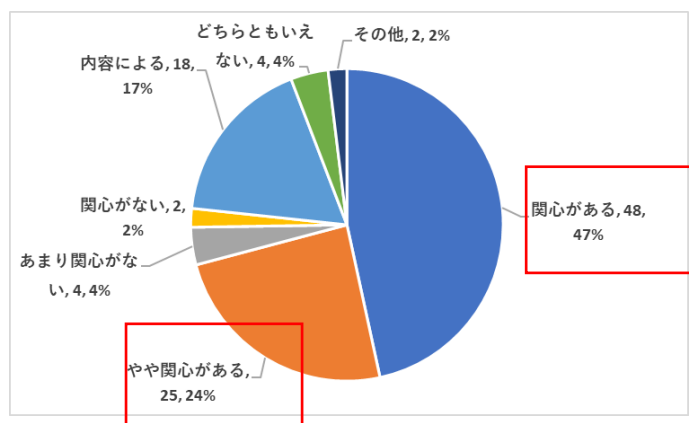
●高等部・専門学校連携をめぐる課題 相互理解の促進

一貫型職業教育プログラムの開発・実施では、その前提として高等部と専門学校の相互理解の促進が不可欠である。昨年度事業で実施した特別支援学校高等部対象のアンケート調査では、以下のグラフに示すように、「専門学校と連携した教育を実施したことがない」が9割を超えており、多くが専門学校と接点を有していないのが実状である。しかしその一方で、「専門学校と連携した教育への関心」については、7割以上が「関心がある」と回答している³。

図表 4-1 専門学校と連携した教育の実施状況



図表 4-2 専門学校と連携した教育への関心の有無



³ 学校法人仙台北学園仙台リハビリテーション専門学校「知的障害特別支援学校高等部と専門学校の有機的連携の開発と実証 事業成果報告書」（2021 年度）

こうした現状を踏まえると、一貫型職業教育プログラムの開発・実施のプロセスにおいて、高等部と専門学校の教員レベルが相互の理解を深めていくような活動も行っていく必要がある。

5. 事業計画の概要（6 か年）

本事業の令和 3 年度から令和 8 年度までの事業計画概要を以下に示す。

令和 4 年度の 1 年生を対象とする教育から年度ごとに学年を上げていく計画となっているが、年度にとらわれることなく、どの年度においても高等部の要望に沿った学年に対する職業教育を可能な範囲で実施することを基本方針とする。

図表 5-1 事業計画の概要（6 か年）

年度	取組内容
令和 3 年度	1. 事業実施体制の構築 2. 特別支援学校高等部の現状把握 3. 一貫型職業教育プログラムの開発 ○カリキュラム設計 ○高等部 1 年生向け教材・指導ガイド 4. 実証講座の実施準備 ○計画 ○実施準備（高等部 1 年生対象） 5. 学習支援・教育支援環境の整備 6. 事業成果の公開 ○事業成果報告書の配布・公開等
令和 4 年度	1. 一貫型職業教育プログラムの開発 ○カリキュラム設計 ○高等部 2 年生向け教材・指導ガイド ○高等部 1 年生向け教材・指導ガイド改訂 2. 実証講座の実施 ○実施・検証（高等部 1 年生対象） ○実施準備（高等部 2 年生） ○実施・検証（高等部教員対象） 3. 学習支援・教育支援環境の整備・運用 4. 事業成果の公開 ○事業成果報告書の配布・公開等
令和 5 年度	1. 一貫型職業教育プログラムの開発 ○カリキュラム設計 ○高等部 3 年生向け教材・指導ガイド ○高等部 2 年生向け教材・指導ガイド改訂 2. 実証講座の実施

	○実施・検証（高等部2年生対象） ○実施準備（高等部3年生） ○実施・検証（高等部教員対象） 3. 学習支援・教育支援環境の整備・運用 4. 事業成果の公開 ○事業成果報告書の配布・公開等
令和6年度	1. 一貫型職業教育プログラムの開発 ○カリキュラム設計 ○専門学校1年生向け教材・指導ガイド ○高等部3年生向け教材・指導ガイド改訂 2. 実証講座の実施 ○実施・検証（高等部3年生対象） ○実施準備（専門学校1年生） ○実施・検証（高等部教員対象） 3. 学習支援・教育支援環境の整備・運用 4. 事業成果の公開 ○事業成果報告書の配布・公開等
令和7年度	1. 一貫型職業教育プログラムの開発 ○カリキュラム設計 ○専門学校2年生向け教材・指導ガイド ○専門学校1年生向け教材・指導ガイド改訂 2. 実証講座の実施 ○実施・検証（専門学校1年生対象） ○実施準備（専門学校2年生） ○実施・検証（高等部教員対象） 3. 学習支援・教育支援環境の整備・運用 4. 事業成果の公開 ○事業成果報告書の配布・公開等
令和8年度	1. 一貫型職業教育プログラムの開発 ○カリキュラム設計 ○高等部1～3年・専門学校1・2年生向け教材・指導ガイド最終版 2. 実証講座の実施 ○実施・検証（専門学校2年生対象） ○実施・検証（高等部教員対象） 3. 事業成果の総括・展開 ○事業6年間の総括

	○普及促進策の策定・実施 4. 学習支援・教育支援環境の整備・運用 5. 事業成果の公開 ○事業成果報告書の配布・公開等
--	--

6. 今年度の取り組み

6.1. 実証講座の実施・検証

6.1.1. 概要

本事業の推進組織である実施委員会の構成機関である特別支援学校各校と連携し、開発した教材を使用した実証講座を実施することで、その有効性や改善点などを検証した。本事業の委託期間は2024年5月から2025年3月であるが、委託期間外で実施した実証講座も職業教育プログラムとして一貫した流れの位置づけとなるため、その実施内容・結果についても、本稿では取り上げることとする。以下に実施した実証講座を一覧で示す。

図表 6-1 実証講座実施一覧

	日 時 学校名	テーマ	対象	参加 生徒	参加 教員
委託期間外	3月11日(月) 大笹生支援学校	働く目的について	2年生	－	－
委託期間外	3月18日(月) 大笹生支援学校	余暇の過ごし方・体作り(ダーツ)	1年生	－	－
委託期間外	3月18日(月) 大笹生支援学校	余暇の過ごし方・体作り(ダーツ)	2年生	－	－
第1回	5月13日(月) 岩沼高等学園	働く事の目的は？どんな人と働きたいですか？ ～自分の将来を考えてみよう～	3年生	29	5
第2回	5月31日(金) 小牛田高等学園	働く事の目的は？どんな人と働きたいですか？ ～自分の将来を考えてみよう～	1年生	16	5
第3回	7月6日(土) 岩沼高等学園	学園祭(販売)	参加希望者	16	3
第4回	7月8日(月) 岩沼高等学園	災害・防災について	3年生	27	5
第5回	8月29日(木) 小牛田高等学園	働く事の目的は？どんな人と働きたいですか？ ～自分の将来を考えてみよう～	2年生	23	4
第6回	9月11日(水) 女川高等学園	ビジネスマナー	1年生	19	6
第7回	9月13日(金) 岩沼高等学園	山形芋煮フェスティバル(販売準備)	参加希望者	5	2
第8回	9月15日(日) 岩沼高等学園	山形芋煮フェスティバル(販売準備)	参加希望者	5	2

第 9 回	9月15日(日) 岩沼高等学園	余暇の過ごし方・体作り(ソフトボール)	岩沼高校学園チーム 宮城選抜チーム	—	—
第 10 回	9月16日(月) 岩沼高等学園	余暇の過ごし方・体作り(ソフトボール)	岩沼高校学園チーム 宮城選抜チーム	—	—
第 11 回	9月19日(木) 大笹生支援学校	ライフデザイン・お金の上手な使い方	3年生	13	4
第 12 回	10月28日(月) 大笹生支援学校	ライフデザイン	3年生	9	3
第 13 回	10月29日(火) 小牛田高等学園	面接指導・履歴書の書き方	3年生	18	3
第 14 回	12月4日(水) 女川高等学園	働く事の目的は？どんな人と働きたいですか？ ～自分の将来を考えてみよう～	1年生	19	6
第 15 回	12月5日(木) 女川高等学園	介護について①	1年生	4	4
第 16 回	12月9日(月) 大笹生支援学校	ライフデザイン	3年生	9	3
第 17 回	12月12日(木) 小牛田高等学園	職業の分析と自己分析(理解)	2年生	23	4
第 18 回	12月16日(月) 小牛田高等学園	いろいろな職業について	1年生	18	4
第 19 回	12月19日(木) 女川高等学園	介護について②	1年生	4	3
第 20 回	1月16日(木) 小牛田高等学園	理学療法士によるコンディショニング講座	参加希望者	4	0
第 21 回	1月17日(金) 小牛田高等学園	理学療法士によるコンディショニング講座	参加希望者	5	0
第 22 回	2月6日(木) 女川高等学園	介護について③	1年生	4	2
第 23 回	2月 19 日(水) 女川高等学園	キャリアデザイン・いろいろな職業	1年生	34	4
第 24 回	2月25日(火) 小牛田高等学園	健康管理とメンタルヘルス	3年生	21	8
第 25 回	3月6日(木) 女川高等学園	介護について④	1年生		
合 計 数				325	80

6.1.2. 実証講座の実施実績

今年度実施した実証講座の各回の実施概要を以下に示す。

6.1.2.1. 第1回 実証講座 （岩沼高等学園）

講座名	働く事の目的は？どんな人と働きたいですか？ ～自分の将来を少し考えてみよう～
開催日時	2024年5月13日（月） 9時00分～10時30分（80分）※10分休憩
場所	宮城県立支援学校岩沼高等学園
対象者	3年生 29名、教員5名
担当	講師：櫻井直人、補助：小畑陽平
教材	資料名：働く事の目的は？どんな人と働きたいですか？ ～自分の将来を少し考えてみよう～ 媒体（紙媒体、投影、Google フォーム）
実施内容等	1. 実施準備 ・資料投影の確認 ・事前打ち合わせ 2. 講義 ・講師紹介 ・講義 ・感想・アンケート 3. 後始末 （この講義で学ぶこと） ① 連絡報告相談（困ったとき・失敗したときの対処方法） ・挨拶はコミュニケーションの基本・入り口 ・コミュニケーション（報告連絡相談）がなぜ大切なのか？ ・コミュニケーションのメリット ・失敗したときの対処方法 ② ライフプランについて ③ 将来に向けて職業と社会についての理解
添付資料	講義資料：働く事の目的は？どんな人と働きたいですか？ ～自分の将来を少し考えてみよう～ アンケート：紙媒体 その他：タブレット使用

本講座の講義用教材（表紙と抜粋ページ）



6.1.2.2. 第2回 実証講座 (小牛田高等学園)

講座名	ビジネスマナーの基礎
開催日時	2024年5月31日(木) 9時40分～11時20分(90分) ※10分休憩
場所	宮城県立支援学校小牛田高等学園
対象者	1年生 16名、教員5名
担当	講師：櫻井直人、補助：沢田泉紀
教材	資料名：ビジネスマナー 媒体(紙媒体、投影、Google フォーム)
実施内容等	1. 実施準備 ・資料投影の確認 ・事前打ち合わせ 2. 講義 ・講師紹介 ・講義 ・感想・アンケート 3. 後始末 (この講義で学ぶこと) ④ ビジネスマナーの基礎 ・身だしなみについて ・言葉づかいについて ・挨拶の大切さ ⑤ コミュニケーションについて ・書類の渡し方 ・アドバイスの受け方 ⑥ 報告・連絡・相談 ・報告・連絡・相談の大切さ ・協力して働くために必要な事 ・ロールプレイ
添付資料	講義資料：ビジネスマナー アンケート：紙媒体 その他：タブレット使用

本講座の講義用教材(表紙と抜粋ページ)

いきなりですが...

▶ 【質問①】です。?

▶ あなたはどんな人と働きたいですか？

1：返事をしない人
2：直ぐにあきらめる人
3：報告・連絡・相談をしない人
④：挨拶が元気な人

→挨拶はコミュニケーションの基本・入り口

6.1.2.3. 第3回 実証講座 （岩沼高等学園）

講座名	仙台リハビリテーション専門学校（販売実践）
開催日時	2024年7月6日（土） 10時00分～14時30分（210分）※60分休憩
場所	宮城県立支援学校岩沼高等学園
対象者	生徒 16名、教員3名
担当	講師：櫻井直人、補助：橘内駿
教材	資料名：
実施内容等	- 実施準備 - 事前打ち合わせ - 販売価格の設定と確認 - 販売準備（商品の陳列等） - 販売商品 - 野菜（岩沼高等学園で収穫した） - 木工製品（岩沼高等学園で収穫した） - 陶芸製品（岩沼高等学園で収穫した） - 後始末（撤収作業等） （この講義で学ぶこと） - 販売の実践 - 売り込み方法 - 金銭の管理等 - 衛生面に配慮した食材の管理等（仕込み作業とは？） 販売の実践（仙台リハビリテーション教員・学生と）
添付資料	講義資料： その他：写真

本講座の講義用教材（表紙と抜粋ページ）



6.1.2.4. 第4回 実証講座 （岩沼高等学園）

講座名	東日本大震災から学ぶ3つの教訓（防災について）
開催日時	2024年7月8日（月） 9時00分～10時30分（80分）※10分休憩
場所	宮城県立支援学校岩沼高等学園
対象者	3年生 27名、教員5名
担当	講師：小畑陽平、補助：櫻井直人
教材	資料名：【岩沼高等学園】東日本大震災から学ぶ3つの教訓（防災について） 媒体（紙媒体、投影）
実施内容等	1. 実施準備 ・資料投影の確認 ・事前打ち合わせ 2. 講義 ・講師紹介 ・講義 ・感想・アンケート 3. 後始末 （この講義で学ぶこと） 東日本大震災から防災を考えよう ① 大地震や津波警報があった場合は、絶対に海沿いに近づかない。助けに戻らない。 ② 大地震や津波警報があった場合は、基本的には徒歩で移動すること。 ③ 避難所や狭い空間に長く同じ姿勢でいる場合定期的に足を動かすこと、水分を取ることが大事。
添付資料	講義資料：【岩沼高等学園】東日本大震災から学ぶ3つの教訓（防災について） アンケート：紙媒体 その他：なし

本講座の講義用教材（抜粋ページ）

信号は止まっている！津波から逃げる車で大渋滞！！

みなさんはどうしますか？？

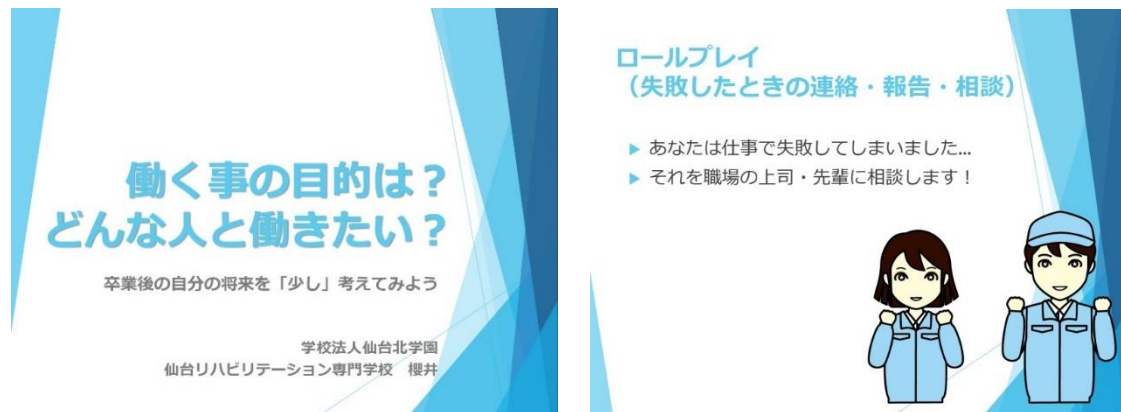
そのまま待ちますか？



6.1.2.5. 第5回 実証講座 （小牛田高等学園）

講座名	働く事の目的は？どんな人と働きたい？
開催日時	2024年8月29日（月） 10時40分～12時20分（80分）※10分休憩
場所	宮城県立支援学校小牛田高等学園
対象者	2年生 23名、教員4名
担当	講師：櫻井直人、補助：橋本円
教材	資料名：【小牛田高等学園】働く事の目的は？どんな人と働きたい？ 媒体（紙媒体、投影）
実施内容等	1. 実施準備 ・資料投影の確認 ・事前打ち合わせ 2. 講義 ・講師紹介 ・講義 ・感想・アンケート 3. 後始末 （この講義で学ぶこと） ① 職業キャリア学習・コミュニケーション ・挨拶はコミュニケーションの基本・入り口 ・コミュニケーション（報告・連絡・相談）がなぜ大切なのか？ ・コミュニケーションのメリット ・失敗したときの対処方法 ② 職業キャリア学習・ライフプランとは？ ・ライフプランとは ・たくさんのライフイベント ・自分の将来（目標）を考える ③ 職業キャリア学習働く目的は？！ ・働く事の目的について
添付資料	講義資料：【小牛田高等学園】働く事の目的は？どんな人と働きたい？ アンケート：紙媒体 その他：なし

本講座の講義用教材（表紙と抜粋ページ）



6.1.2.6. 第6回 実証講座 （女川高等学園）

講座名	ビジネスマナー
開催日時	2024年9月11日（水） 13時10分～14時40分（80分）※10分休憩
場所	宮城県立支援学校女川高等学園
対象者	1年生19名、教員6名
担当	講師：櫻井直人、補助：橋本円（作業療法士）
教材	資料名：ビジネスマナー 媒体（紙媒体、投影）
実施内容等	1. 実施準備 ・資料投影の確認 ・事前打ち合わせ 2. 講義 ・講師紹介 ・講義 ・感想・アンケート 3. 後始末 （この講義で学ぶこと） ① 社会で働く ・学校と会社（職場）の違い・お金を得る責任 ・現場教育と学校教育の違い ② 通勤・職場の服装 ③ 身だしなみ ④ 職場の中の移動 ⑤ 出社～始業時間まで ⑥ 挨拶 ⑦ 言葉使いの基本 ⑧ アドバイス（助言）を受ける ⑨ お願いをする・質問をする ⑩ 基本的な報告と連絡と相談 ⑪ 主体的な構造とは？
添付資料	講義資料：【女川高等学園】ビジネスマナー アンケート：紙媒体

本講座の講義用教材（表紙と抜粋ページ）

前半戦

ビジネスマナー

服装や身だしなみ、
通勤時に気をつけることがあります。

また、しよくば内でのあいさつや移動
なども身につけましょう。

10
「ほうれんそう」で間違っていることは？

A 「ほう」は報告

B 「れん」は連絡

C 「そう」は相談

☒ D 野菜



6.1.2.7. 第7回 実証講座 （岩沼高等学園）

講座名	山形芋煮フェスティバル（販売事前学習）			
開催日時	2024年9月13日（金） 10時30分～11時30分（80分）※10分休憩			
場所	宮城県立支援学校岩沼高等学園			
対象者	生徒 5名、教員2名			
担当	講師：櫻井直人、補助：沢田泉紀			
教材	資料名：山形芋煮フェスティバル（販売事前学習） 媒体（紙媒体）			
実施内容等	1. 実施準備 ・事前打ち合わせ 2. 講義 ・講師紹介 ・講義 ・感想 3. 後始末 （この講義で学ぶこと） ③ 販売価格の設定について ● みそきゅうりの販売を想定 ● 仕入れ値は？ ● 収益と収入とは？ ● 収益・収入を想定したきゅうりの目標販売数は？ ④ 衛生面に配慮した食材の準備（仕込み作業とは？） ● 実践（仙台リハビリテーション教員・学生と）			
添付資料	講義資料： アンケート：紙媒体			

本講座の講義用教材（表紙と抜粋ページ）

山形芋煮フェスティバル
販売事前学習（9／13）
岩沼高等学園

味噌つききゅうり（いくらで販売？）

	販売価格 50円	販売価格 100円	販売価格 150円	販売価格 200円
50本	2,500円	5,000円	7,500円	10,000円
100本	5,000円	10,000円	15,000円	20,000円
150本	7,500円	15,000円	22,500円	30,000円
200本	10,000円	20,000円	30,000円	40,000円

6.1.2.8. 第8回 実証講座 （岩沼高等学園）

講座名	山形芋煮フェスティバル（販売実践）
開催日時	2024年9月15日（日） 11時00分～14時30分（150／分）※60分休憩
場所	宮城県立支援学校岩沼高等学園
対象者	生徒 5名、教員2名
担当	講師：櫻井直人、補助：沢田泉紀・吉田翔太・橘内駿
教材	資料名：山形芋煮フェスティバル（販売実践）
実施内容等	1. 実施準備 ・事前打ち合わせ ・販売価格の設定と確認 ・販売準備（商品の陳列等） 2. 販売商品 ・ソフトクリーム ・かき氷 ・きゅうり ・甘酒 ・野菜（岩沼高等学園で収穫した） 3. 後始末（撤収作業等） （この講義で学ぶこと） ⑤ 販売の実践 ● 売り込み方法 ● 金銭の管理等 ⑥ 衛生面に配慮した食材の管理等（仕込み作業とは？） ● 販売の実践（仙台リハビリテーション教員・学生と）
添付資料	講義資料： その他：写真

当日の悪天候によって昨年度同様の成果は得られなかった。



6.1.2.9. 第9回・10回 実証講座 （岩沼高等学園）

講座名	山形芋煮フェスティバル（販売実践）
開催日時	2024年9月15日（日）－16日（月） 9時00分～17時30分（540分）※60分休憩
場所	シェルコム仙台・利府町中央公園野球場（楽天イーグルス利府球場）
対象者	
担当	講師：瀬戸厚史 小畑陽平
教材	資料名：なし
実施内容等	昨年度より職業教育の一環として余暇の過ごし方について検討を行った。その際に本事業の協力校の岩沼高等学園の教員の相澤教務部長が日本知的障がい者ソフトボール連盟理事長を務めており、余暇（ソフトボール）として岩沼高等学園ソフトボールチーム・宮城県選抜チームが参加予定の「ハンズホールディングCUP2024」に協力をさせて頂いた。主な協力内容は理学療法士による怪我の予防や、コンディショニングの指導、当校仙台リハビリテーション専門学校学生によるボールボーイ、各会場への送迎等である。 （この講座で学ぶ事） 安全な余暇（運動）の過ごし方の指導として怪我の予防やコンディショニングの方法などについて
添付資料	講義資料： その他：写真

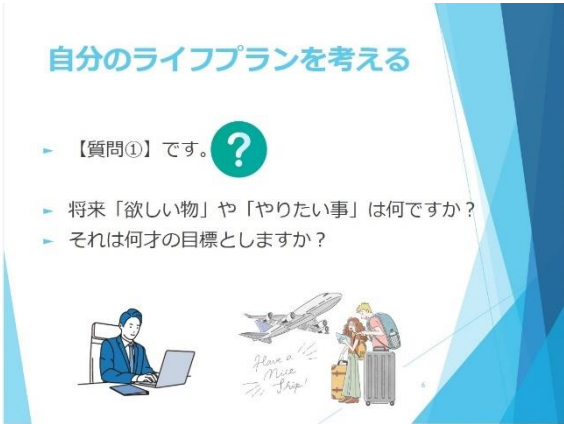
本講座の講義用教材（表紙と抜粋ページ）



6.1.2.10. 第11回 実証講座 (大笹生支援学校)

講座名	働く事の目的は？どんな人と働きたいですか？～自分の将来を少し考えてみよう～お金の上手（じょうず）な使い方について
開催日時	2024年9月19日（木） 13時10分～14時55分（85分）※10分休憩
場所	福島県立支援学校大笹生支援学校
対象者	3年生13名、教員4名
担当	講師：櫻井直人（作業療法士）
教材	資料名：働く事の目的は？どんな人と働きたいですか？～自分の将来を少し考えてみよう～ お金の上手（じょうず）な使い方 媒体（紙媒体、投影、Google フォーム）
実施内容等	1. 実施準備 - 資料投影の確認 - 事前打ち合わせ 2. 講義 - 講師紹介 - 講義 - 感想・アンケート 3. 後始末 （この講義で学ぶこと） ⑦ 連絡報告相談（困ったとき・失敗したときの対処方法） ⑧ ライフプランについて ⑨ 将来に向けて職業と社会についての理解 ⑩ お金の管理や運用について
添付資料	講義資料：働く事の目的は？どんな人と働きたいですか？～自分の将来を少し考えてみよう～ お金の上手（じょうず）な使い方 アンケート：紙媒体 その他：タブレット使用
本講座の講義用教材（表紙と抜粋ページ）	
 	

6.1.2.11. 第12回 実証講座 (大笹生支援学校)

講座名	働く事の目的は？どんな人と働きたいですか？～自分の将来を少し考えてみよう～
開催日時	2024年10月28日(月) 13時10分～14時00分(50分)
場所	福島県立支援学校大笹生支援学校
対象者	3年生9名、教員3名
担当	講師：櫻井直人(作業療法士)
教材	資料名：働く事の目的は？どんな人と働きたいですか？～自分の将来を少し考えてみよう～媒体(紙媒体、投影、Googleフォーム)
実施内容等	1. 実施準備 ・資料投影の確認 ・事前打ち合わせ 2. 講義 ・講師紹介 ・講義 ・感想・アンケート 3. 後始末 (この講義で学ぶこと) ① 連絡報告相談(困ったとき・失敗したときの対処方法) ② ライフプランについて ③ 将来に向けて職業と社会についての理解
添付資料	講義資料：働く事の目的は？どんな人と働きたいですか？～自分の将来を少し考えてみよう～ アンケート：紙媒体その他：タブレット使用
本講座の講義用教材(表紙と抜粋ページ)	
 	

6.1.2.12. 第13回 実証講座 (小牛田高等学園)

講座名	履歴書の書き方 面接指導
開催日時	2024年10月29日(火) 10時40分～12時20分(90分) ※休憩10分
場所	宮城県立支援学校小牛田高等学園
対象者	3年生18名、教員3名
担当	講師：櫻井直人(作業療法士)
教材	資料名：履歴書の書き方 面接指導
実施内容等	1. 実施準備 ・資料投影の確認 ・事前打ち合わせ 2. 講義 ・講師紹介 ・講義 ・感想・アンケート 3. 後始末 (この講義で学ぶこと) ⑭ 履歴書を書く準備を始めよう ・自分自身の長所は？ ・職場ではどのような得意(長所)が活かれますか？ ⑮ 面接の前に準備しておくこと ・面接時の服装 ・面接時の態度 ・就職希望の理由(動機)を伝える ・得意・苦手・配慮して欲しいこと
添付資料	講義資料：履歴書の書き方 面接指導 アンケート：紙媒体 その他：タブレット使用

本講座の講義用教材(表紙と抜粋ページ)

前半戦

履歴書を書く 準備を始めよう

面接試験の前には履歴書(りれきしょ)
の提出が必要です

3 部屋に入るときのあいさつは？

☒ A 「失礼します」

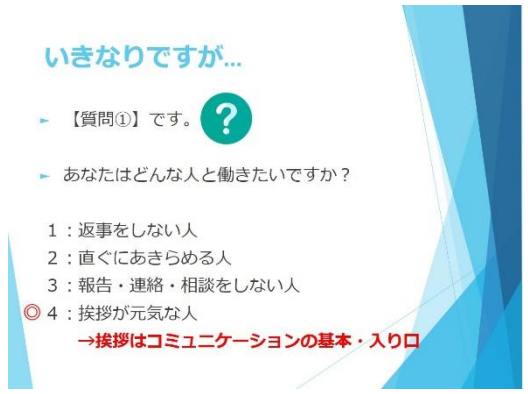
☐ B 「どーもー」

☐ C 「お疲れ様です」

☐ D 「こんにちはー」



6.1.2.13. 第14回 実証講座 (女川高等学園)

講座名	働く事の目的は？どんな人と働きたいですか？
開催日時	2024年12月4日（水） 13時10分～14時40分（80分）※10分休憩
場所	宮城県立支援学校女川高等学園
対象者	1年生 19名、教員6名
担当	講師：櫻井直人
教材	資料名：【女川高等学園】働く事の目的は？どんな人と働きたい？ 媒体（紙媒体、投影）
実施内容等	1. 実施準備 ・資料投影の確認 ・事前打ち合わせ 2. 講義 ・講師紹介 ・講義 ・感想・アンケート 3. 後始末 （この講義で学ぶこと） ④ 職業キャリア学習・コミュニケーション ・挨拶はコミュニケーションの基本・入り口 ・コミュニケーション（報告・連絡・相談）がなぜ大切なのか？ ・コミュニケーションのメリット ・失敗したときの対処方法 ⑤ 職業キャリア学習・ライフプランとは？ ・ライフプランとは ・たくさんのライフイベント ・自分の将来（目標）を考える ⑥ 職業キャリア学習働く目的は？！ ・働く事の目的について
添付資料	講義資料：【女川高等学園】働く事の目的は？どんな人と働きたい？ アンケート：紙媒体 その他：なし
本講座の義用教材（表紙と抜粋ページ）  	

6.1.2.14. 第15回 実証講座 (女川高等学園)

講座名	介護の講座 介護について①
開催日時	2024年12月5日(木) 13時10分～14時40分(80分) ※10分休憩
場所	宮城県立支援学校女川高等学園
対象者	1年生 4名、教員4名
担当	講師：窪木守・佐藤篤(郡山健康科学専門学校介護福祉学科)
教材	資料名：「介護とは?」「高齢者疑似体験」 媒体(紙媒体、投影)
実施内容等	1. 実施準備 ・資料投影の確認 ・事前打ち合わせ 2. 講義 ・講師紹介 ・講義 ・感想・アンケート 3. 後始末 (この講義で学ぶこと) ① 「高齢者」ってどのようなイメージですか? ・感覚器の低下や、姿勢障害などについて理解を深める ② 「介護」をする人はどのような人ですか? ・人を支えることや、生活を支えることについて実体験も含めて理解を深める。 ③ 高齢者疑似体験 ・高齢者体験をとおして身体面の不自由さや高齢者気持ちを理解する
添付資料	講義資料：「介護とは?」「高齢者疑似体験」 アンケート：紙媒体 その他：なし
講座の講義用教材(表紙と抜粋ページ) 介護とは  「介護」ってどのようなイメージですか? 「介護」は、年齢を重ねて自分でできないことが増えた人、病気でできなくなったことを助けることを言います。 例えば、歩けないおじいさんやおばあさんに、手を貸して歩くのを助ける、食事を一緒に食べる、病院に一緒に行くといった色々なお手伝いをします。 つまり、生活にかかせない食事、洗濯、お掃除、などのお手伝いをします。 Q 普段、お家のお手伝いをしますか?	

6.1.2.15. 第16回 実証講座 (大笹生支援学校)

講座名	ライフデザイン ヘルスケアを考えよう！
開催日時	2024年12月9日（月） 13時10分～14時00分（50分／分）
場所	福島県立支援学校大笹生支援学校
対象者	3年生9名、教員4名
担当	講師：櫻井直人（作業療法士）
教材	資料名：ヘルスケアを考えよう！媒体（紙媒体、投影、Google フォーム）
実施内容等	1. 実施準備 ・資料投影の確認 ・事前打ち合わせ 2. 講義 ・講師紹介 ・講義 ・感想・アンケート 3. 後始末 （この講義で学ぶこと） ① ヘルスケアとは？ ・BMIとは？ ・やせ過ぎと太り過ぎの危険性 ・栄養管理も大切 ・カロリー摂取について ② メンタルヘルスと自律神経 ・自律神経とは？ ・自律神経の乱れによる心身の不調について ・運動（有酸素）の大切さ ・生活リズムを整える大切さ ・栄養管理の大切さ ・心身を整える運動について（実践）
添付資料	講義資料：ヘルスケアを考えよう！働く上で体が資本（しほん）になります。しっかりと自分の体を知ってメンタルヘルスができるようになります。 アンケート：紙媒体 その他：タブレット使用

講座の講義用教材（表紙と抜粋ページ）

前半戦

ヘルスケアを 考えよう！

働く上で体が資本(しほん)になります。
しっかりと自分の体を知ってメンタルヘルス
ができるようになります。

2 栄養管理も大切

ヘルスケア(健康管理)のためには運動も大切ですが**栄養管理**も大切です
運動の前に**栄養管理**の事も学びましょう！



6.1.2.16. 第17回 実証講座 (小牛田高等学園)

講座名	働く事の目的は？どんな人と働きたい？
開催日時	2024年12月12日（木） 10時40分～12時20分（80分）※10分休憩
場所	宮城県立支援学校小牛田高等学園
対象者	2年生 23名、教員4名
担当	講師：櫻井直人、補助：橋本円・下平繁晴
教材	資料名：キャリアデザイン・いろいろな職業と適性・自分の理解 ～卒業までに身に着ける事は？～媒体（紙媒体、投影）
実施内容等	1. 実施準備 ・資料投影の確認 ・事前打ち合わせ 2. 講義 ・講師紹介 ・講義 ・感想・アンケート 3. 後始末 （この講義で学ぶこと） ① 職業の理解・分析 ・様々な職業（仕事）を理解する ・職業（仕事）の分析をする ・その職業（仕事）に必要な能力や適性を考える ② 自分（自己）の理解 ・働くための自分自身の理解について ・良い所を活かし、課題を改善する事の大切さについて ・自分自身の分析 ③ 卒業までに身に付ける事について（目標の設定）
添付資料	講義資料：【小牛田高等学園】働く事の目的は？どんな人と働きたい？ アンケート：紙媒体

講座の講義用教材（表紙と抜粋ページ）



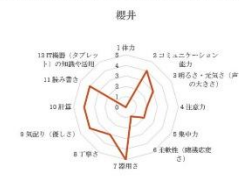
～卒業までに身に着ける事は？～

学校法人仙台北学園
仙台リハビリテーション専門学校 櫻井

自分（自己）の分析？

- ・【課題②】です。?
- ・Excelシートに0～5段階で自分の評価を入力しましょう

例：櫻井の自己分析



6.1.2.17. 第18回 実証講座 (小牛田高等学園)

講座名	職業キャリア学習いろいろな職業
開催日時	2024年12月16日(月) 10時40分～12時20分(80分) ※10分休憩
場所	宮城県立支援学校 小牛田高等学園
対象者	1年生18名、教員4名
担当	講師：櫻井直人、補助：橘内駿
教材	資料名：キャリアデザイン～いろいろな職業～(小牛田高等学園1年) 媒体(紙媒体、投影)
実施内容等	1. 実施準備 ・資料投影の確認 ・事前打ち合わせ 2. 講義 ・講師紹介 ・講義 ・感想・アンケート 3. 後始末 (この講義で学ぶこと) ①いろいろな職業があって社会が成り立っている事 ・コンビニの店員さんを例にして具体的な仕事について考える 販売の仕事(販売業) 運送の仕事(運送業) 食品製造の仕事(食品製造業) 製造の仕事(製造業) 農業・漁業・畜産業 などの理解 ②具体的な仕事の理解 ～医療・福祉の分野～ 介護福祉の仕事とは？ 介護福祉士のやりがいは何でしょうか？ 医療・福祉の分野における協力体制について
添付資料	講義資料：キャリアデザイン～いろいろな職業～(小牛田高等学園1年) アンケート：紙媒体 その他：なし

講座の講義用教材(表紙と抜粋ページ)



6.1.2.18. 第19回 (女川高等学園)

講座名	介護の講座
開催日時	2024年12月19日(木) 13時10分～14時40分(80分) ※10分休憩
場所	宮城県立支援学校女川高等学園
対象者	1年生 4名、教員4名
担当	講師：窪木守・佐藤篤(郡山健康科学専門学校介護福祉学科)
教材	資料名：「コミュニケーション」「コミュニケーションと文字盤」 媒体(紙媒体、投影)
実施内容等	1. 実施準備 ・資料投影の確認 ・事前打ち合わせ 2. 講義 ・講師紹介 ・講義 ・感想・アンケート 3. 後始末 (この講義で学ぶこと) ⑦ コミュニケーションについて ・「介護」で求められるコミュニケーションとは？ ・利用者とのコミュニケーション(視線、注意、感謝) ・バーバルコミュニケーションについて ・見た目の印象について ⑧ 透明文字盤の活用について(座学) ・コミュニケーションに課題がある人とは？ ・自己表現と対象者の理解について ⑨ 透明文字盤の活用について(体験) ・実際に透明文字盤を使用して体験を行った。
添付資料	講義資料：「コミュニケーション」「コミュニケーションと文字盤」 アンケート：紙媒体

講座の講義用教材(表紙と抜粋ページ)



手にどの程度細菌が？(疑似体験)

①手洗いチェッカーで確認！

②手のどの部分に細菌が付着しているのか！

③手洗いしてから確認しよう！



6.1.2.19. 第20回・21回実証講座 (小牛田高等学園)

講座名	理学療法士によるフィジカルコンディショニング講座開催
開催日時	2025年1月16日(木) - 17日(金) 9時30分～12時00分(150/分) ※10分休憩
場所	宮城県立小牛田高等学園
対象者	生徒9名(合計)
担当	講師：下平茂晴、補助：櫻井直人
教材	資料名：小牛田支援学校トレーニングプレゼン
実施内容等	1. 実施準備・お迎え(スクールバス利用) ・地下的泉中央駅集合 2. 体験内容 ・マシントレーニングの利点 ・具体的なマシンの使用方法 ・筋力トレーニングの負荷量と回数と休息について ・最大限のパフォーマンスを発揮するためのメンタルケア ・有酸素運動の目安 3. 後始末(撤収作業等) (この講義で学ぶこと) ①マシンを使用した効果的な筋力トレーニング方法 ②コンディショニングと怪我の予防について ③最大限のパフォーマンスを発揮するためのメンタルケア ④学内でのスポーツテストの結果の振り返り(個別運動指導)
添付資料	講義資料：小牛田支援学校トレーニングプレゼン その他：写真
備考	参加予定の生徒は全員時間に送れずに集合し参加が出来ていた。様々な学年の生徒が参加しており、学年を跨いだ交流の機会になっていたと思われる。
講座の講義用教材(表紙と抜粋ページ) マシンを使用した効果的な筋力トレーニング  トレーニング前後のウォーミングアップとクールダウン 1 ウォーミングアップ 筋肉と関節を温め、運動に備えることが重要です。 2 クールダウン 心拍数を落ち着かせ、筋肉の回復を促進するのに役立ちます。 	

6.1.2.20. 第23回 実証講座 (岩沼高等学園)

講座名	職業キャリア学習いろいろな職業
開催日時	2025年2月19日(水) ①13時30分～14時15分(45分) ②14時25分～15時10分(45分) ※人数をわけて同じ内容を二回実施している
場所	宮城県立支援学校岩沼高等学園
対象者	1年生34名、教員4名
担当	講師：櫻井直人
教材	資料名：キャリアデザイン～いろいろな職業～(岩沼高等学園1年) 媒体(紙媒体、投影)
実施内容等	1. 実施準備 ・資料投影の確認 ・事前打ち合わせ 2. 講義 ・講師紹介 ・講義 ・感想・アンケート 3. 後始末 (この講義で学ぶこと) ①いろいろな職業があって社会が成り立っている事 ・コンビニの店員さんを例にして具体的な仕事について考える 販売の仕事(販売業) 運送の仕事(運送業) 食品製造の仕事(食品製造業) 製造の仕事(製造業) 農業・漁業・畜産業などの理解 ②具体的な仕事の理解 ～医療・福祉の分野～ 介護福祉の仕事とは？ 介護福祉士のやりがいは何でしょうか？ 医療・福祉の分野における協力体制について
添付資料	講義資料：キャリアデザイン～いろいろな職業～(岩沼高等学園1年) アンケート：紙媒体

講座の講義用教材(表紙と抜粋ページ)



6.1.2.21. 第24回実証講座 (大笹生支援学校)

講座名	健康管理（ヘルスケア）とメンタルヘルスを考えよう！
開催日時	2025年2月25日（火） 10時40分～12時20分（90分）※休憩10分
場所	小牛田高等学園
対象者	3年生21名、教員8名
担当	講師：櫻井直人（作業療法士）・橋本円（作業療法士）
教材	資料名：「健康管理（ヘルスケア）とメンタルヘルスを考えよう！」
実施内容等	1. 実施準備 ・資料投影の確認 ・事前打ち合わせ 2. 講義 ・講師紹介 ・講義 ・感想・アンケート 3. 後始末 （この講義で学ぶこと） ⑩ ヘルスケアとメンタルヘルスを考えよう！ ・ヘルスケアとは？ ・栄養管理も大切 ・筋肉をつくるために ⑪ 体を動かしながら健康管理を考えよう ・腰痛予防と肩こり予防 ・具体的なストレッチと筋トレ ・メンタルヘルスと自律神経 ・メンタルヘルスと心の病気
添付資料	講義資料：「健康管理（ヘルスケア）とメンタルヘルスを考えよう！」 アンケート：紙媒体 その他：タブレット使用

講座の講義用教材（表紙と抜粋ページ）

前半戦

ヘルスケアとメンタルヘルスを考えよう！

働く上で体が資本（しほん）になります。
しっかりと自分の体を知ってヘルスケアができるようになります。

5 体幹トレーニング(デッドリフト)

左右5回ずつ

6.1.3. 実証講座の結果要旨

今年度の実証講座では、実施後の生徒アンケート、特別支援学校高等部の教員及び実証講座担当講師からの意見、実施委員及びコーディネーターからの意見などを総合的に勘案することで検証を進めた。

すべての実施回で講座終了時に生徒へのアンケートを実施しているが、特別支援学校高等部ごとに集計した結果をグラフ化して掲載する。これらのアンケート結果から、生徒個々の講座の受け止めかたを確認することができたのは大きな成果のひとつであった。

次頁よりアンケート結果を示す。

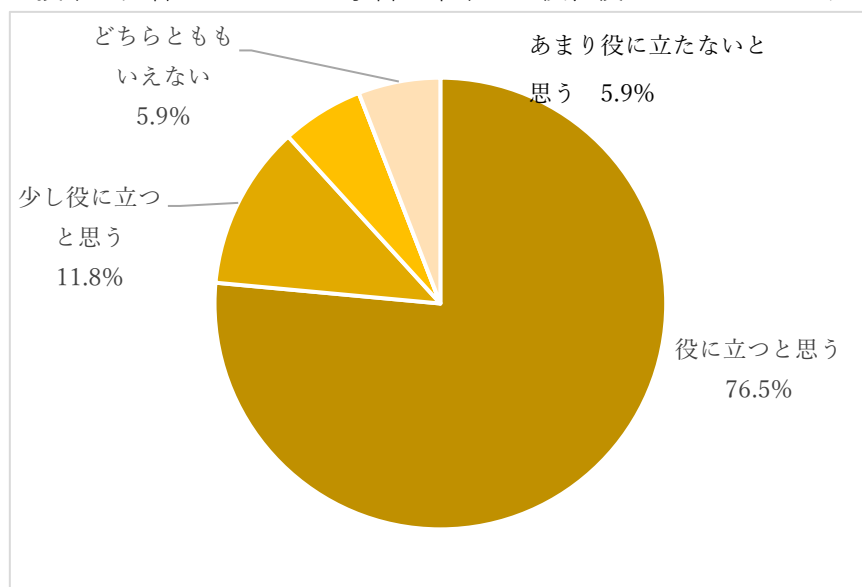
大笹生支援学校

講座参加生徒数 のべ31名（3年生31名）

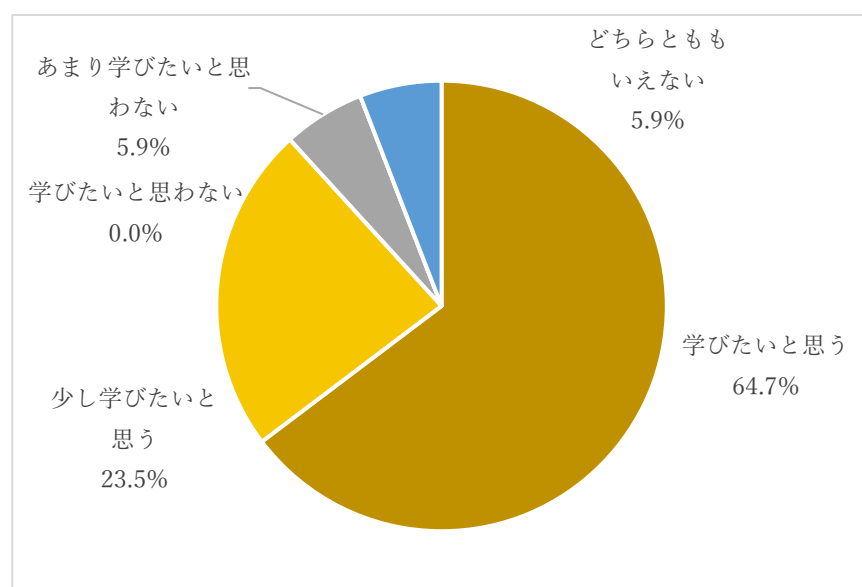
アンケート回答数 17名

* 設問(6) 自由記入欄は全て巻末に示す

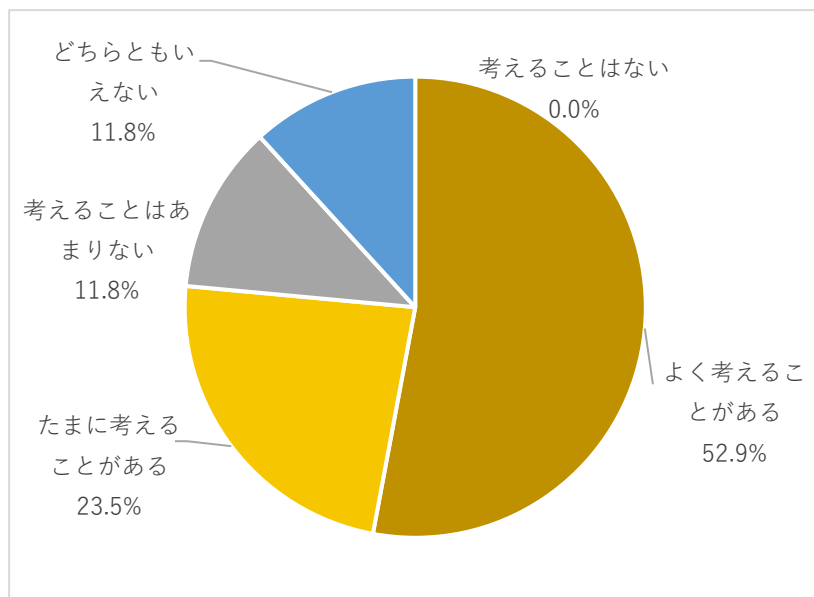
(1) 今日の授業の内容はこれからの学習や卒業した後、役に立つと思いますか。



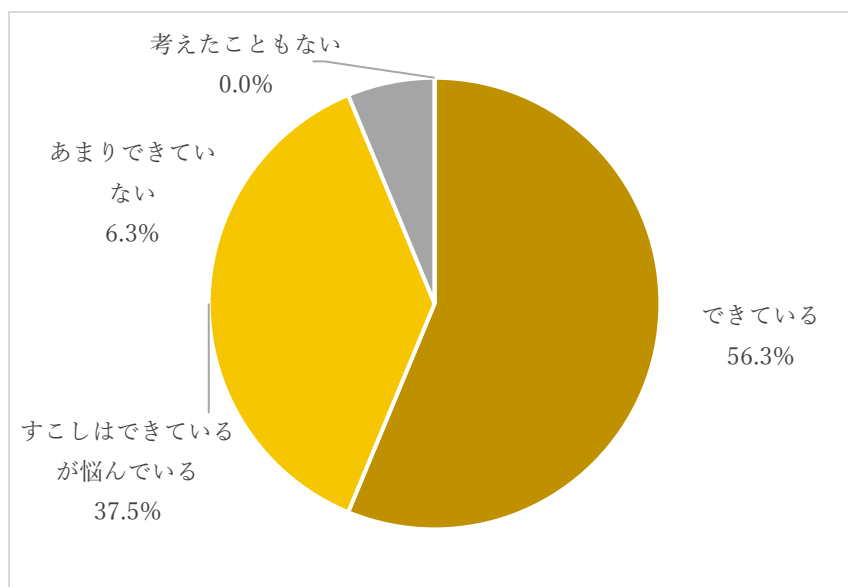
(2) 就職や進学など将来の進路について、学びたいと思いますか。



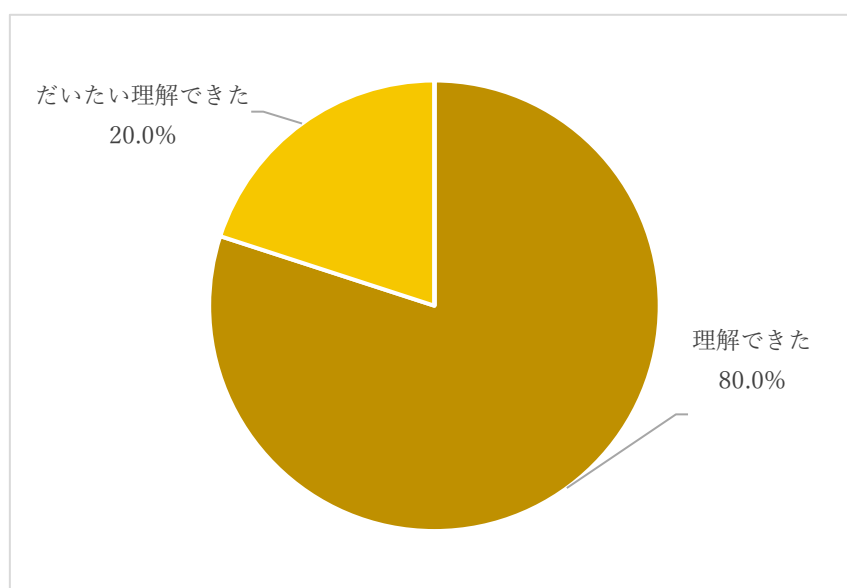
(3) 就職・進路など高等学園を卒業した後の自分の進路について、もっともあてはまるものはどれですか。



(4) 就職・進学など高等学園を卒業した後の自分の進路が具体的にイメージできていますか。



(5) 授業の内容は理解できましたか。



(6) 授業の内容など、感想をお聞かせください。 *

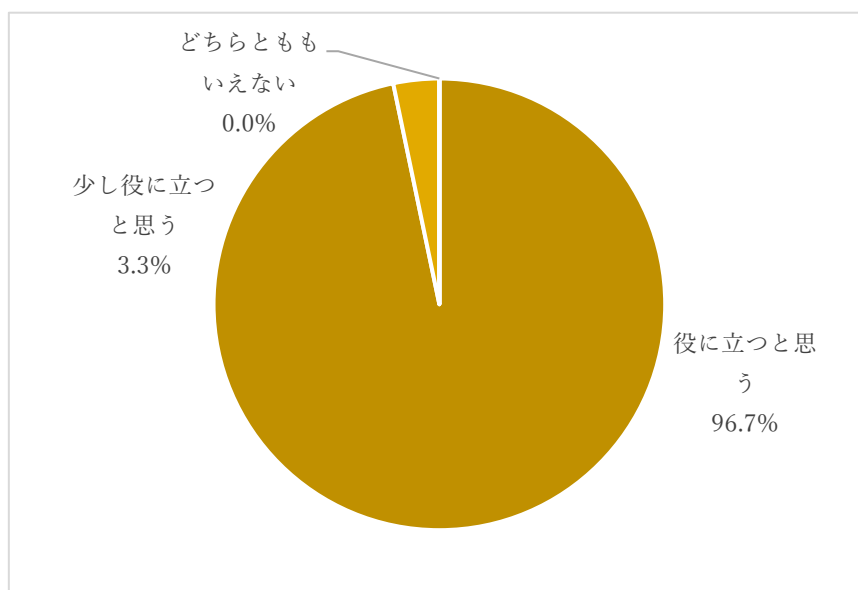
女川高等学園

講座参加生徒数 のべ84名（1年生84名）

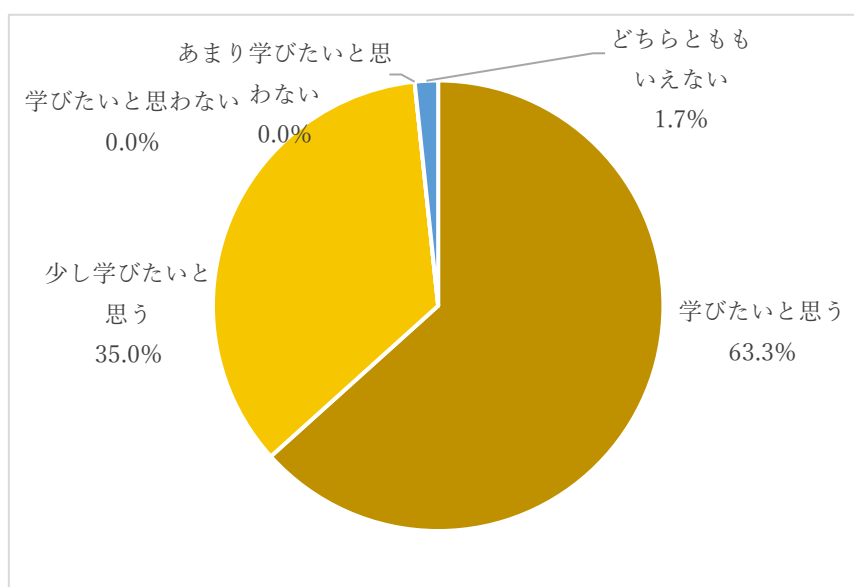
アンケート回答数 76名

* 設問(6) 自由記入欄は全て巻末に示す

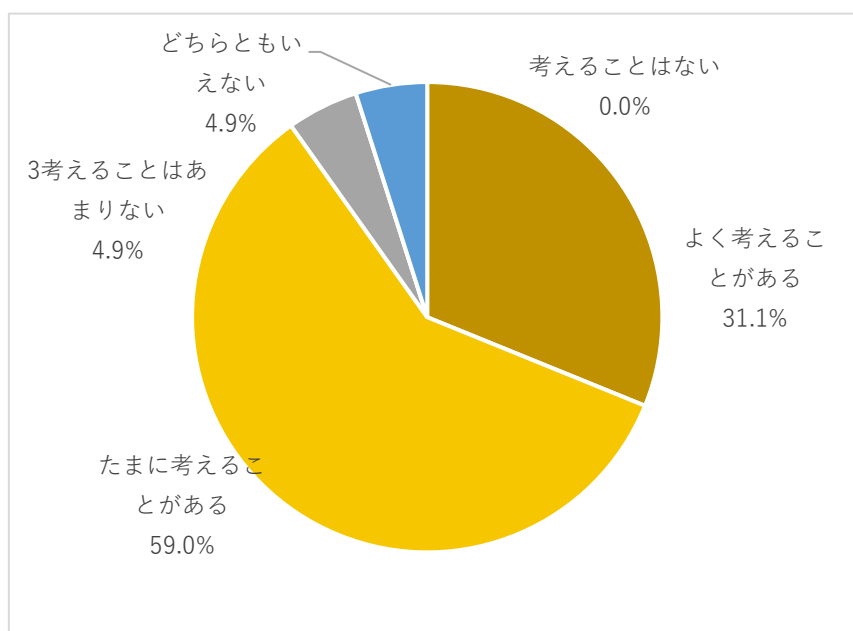
(1) 今日の授業の内容はこれからの学習や卒業した後、役に立つと思いますか。



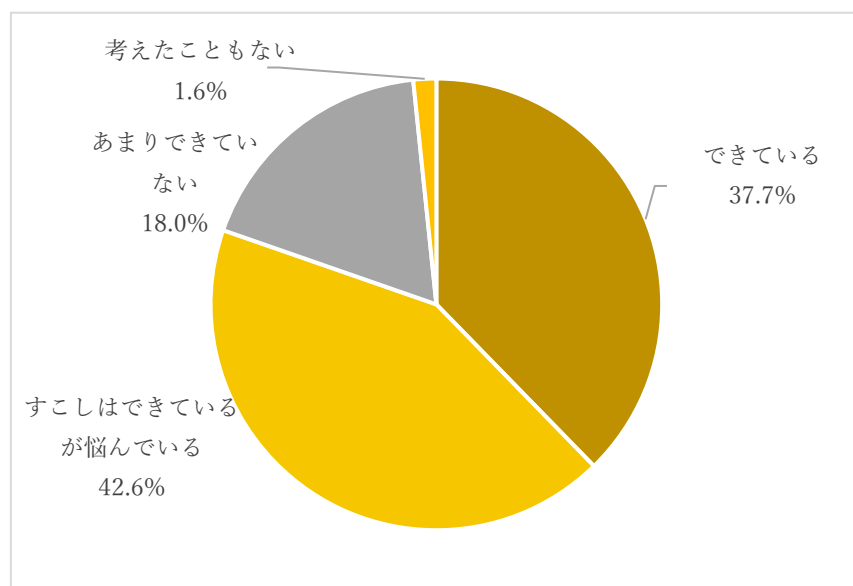
(2) 就職や進学など将来の進路について、学びたいと思いますか。



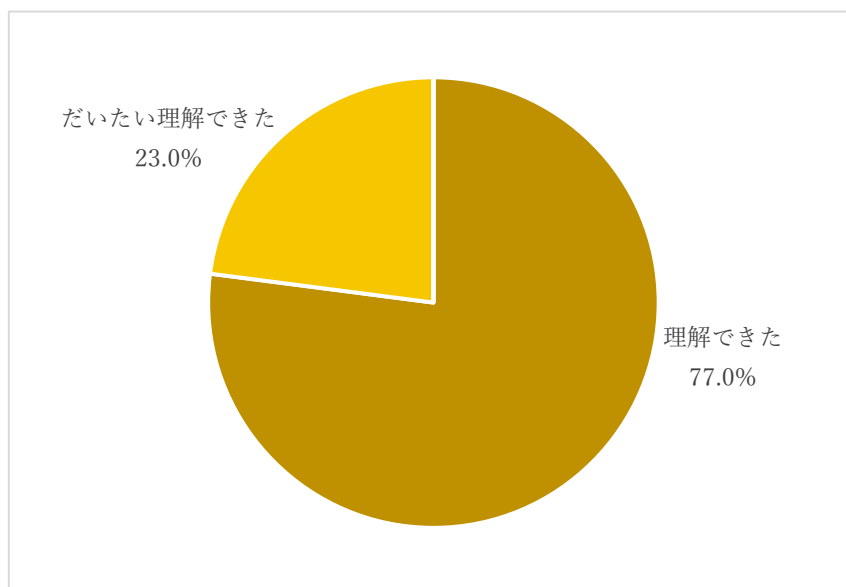
(3) 就職・進路など高等学園を卒業した後の自分の進路について、もっともあてはまるものはどれですか。



(4) 就職・進学など高等学園を卒業した後の自分の進路が具体的にイメージできていますか。



(5) 授業の内容は理解できましたか。



(6) 授業の内容など、感想をお聞かせください。 *

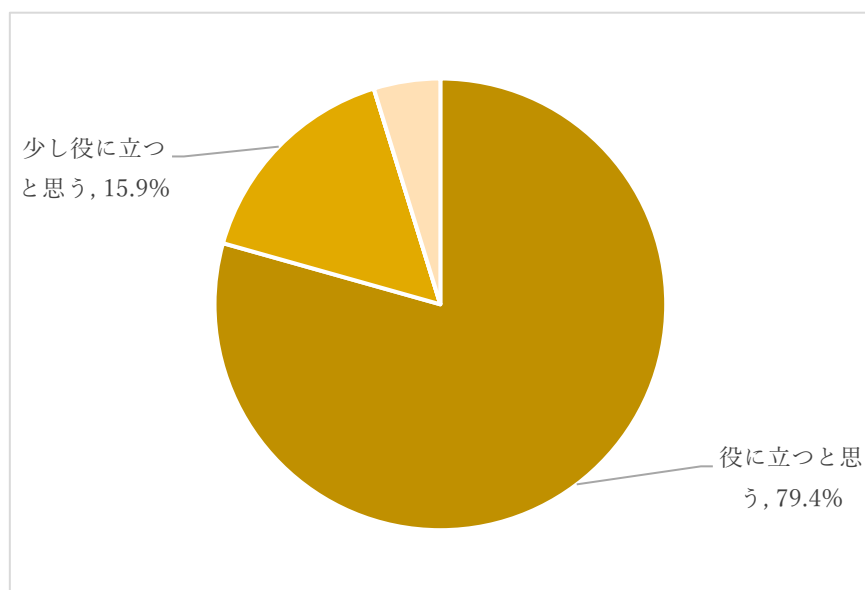
岩沼高等学園

講座参加生徒数 のべ63名（1年生34名、3年生29名）

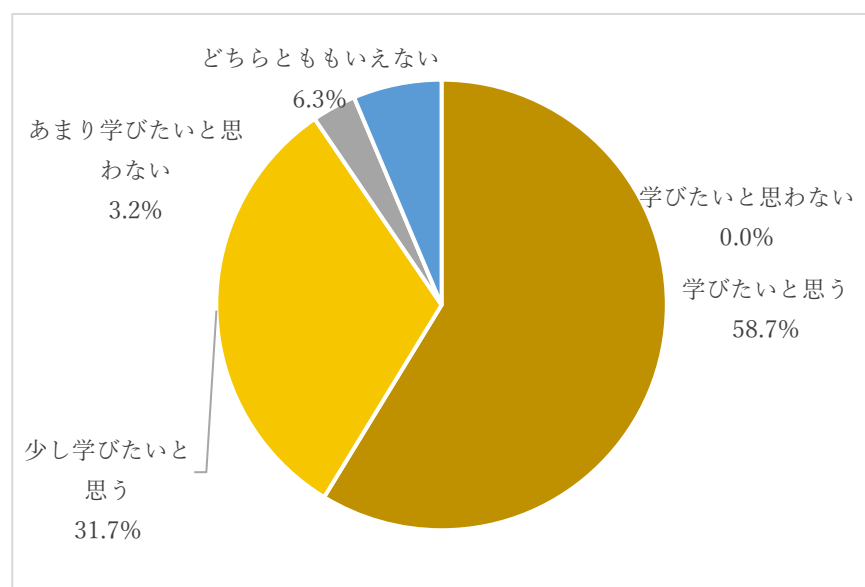
アンケート回答数 63名

* 設問(6) 自由記入欄は全て巻末に示す

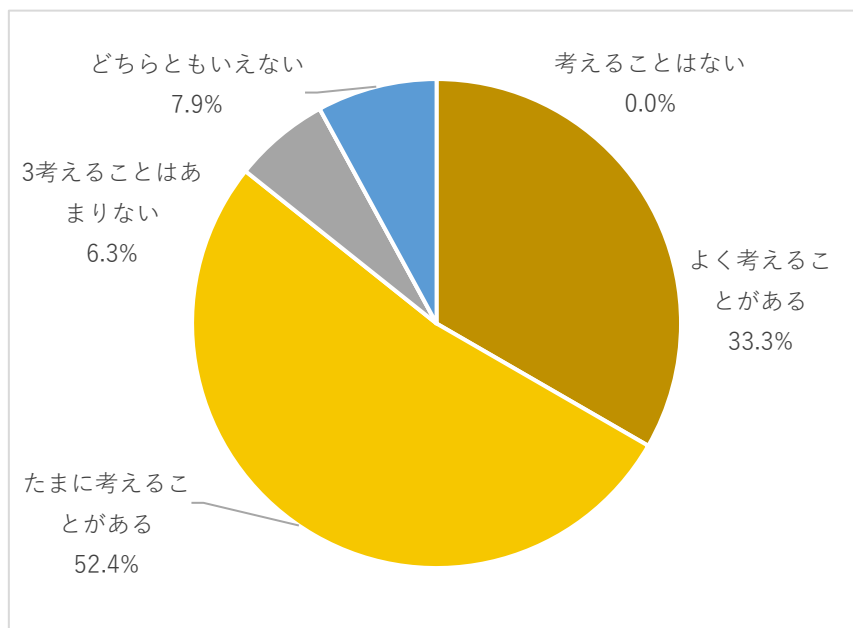
(1) 今日の授業の内容はこれからの学習や卒業した後、役に立つと思いますか。



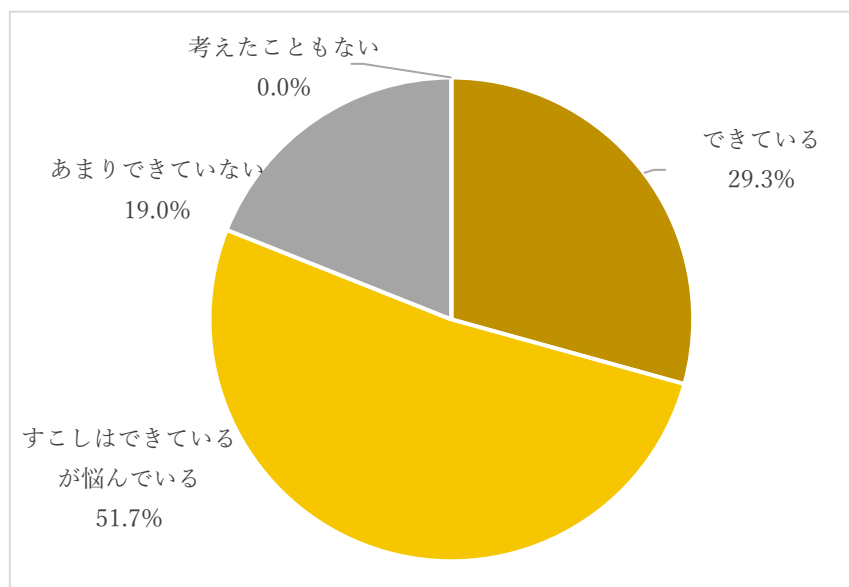
(2) 就職や進学など将来の進路について、学びたいと思いますか。



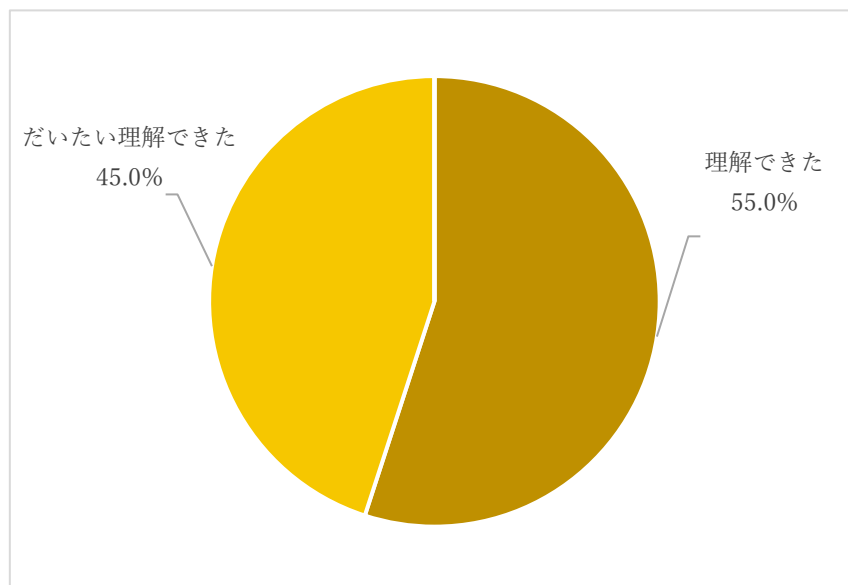
(3) 就職・進路など高等学園を卒業した後の自分の進路について、もっともあてはまるものはどれですか



(4) 就職・進学など高等学園を卒業した後の自分の進路が具体的にイメージできていますか。



(5) 授業の内容は理解できましたか。



(6) 授業の内容など、感想をお聞かせください。 *

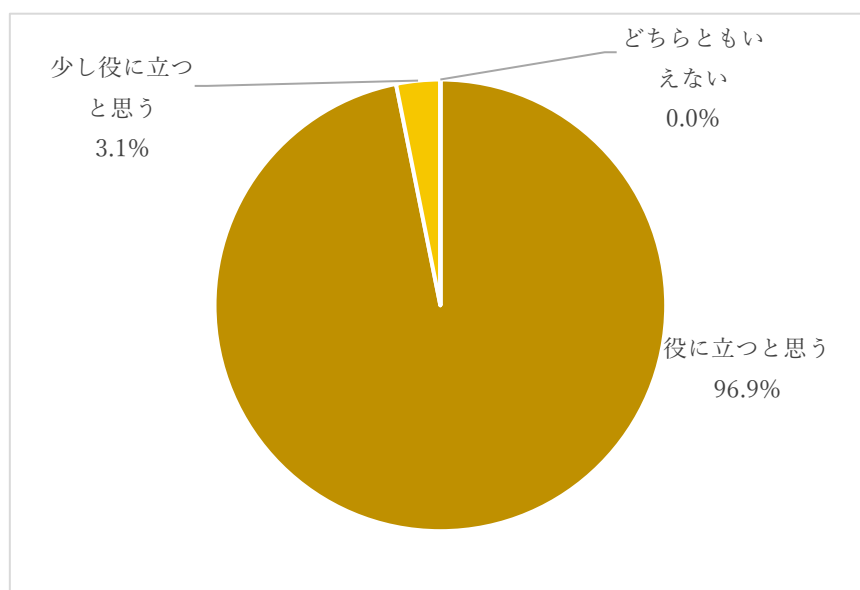
小牛田高等学園

講座参加生徒数 のべ128名 （1年生34名、2年生46名、3年生48名）

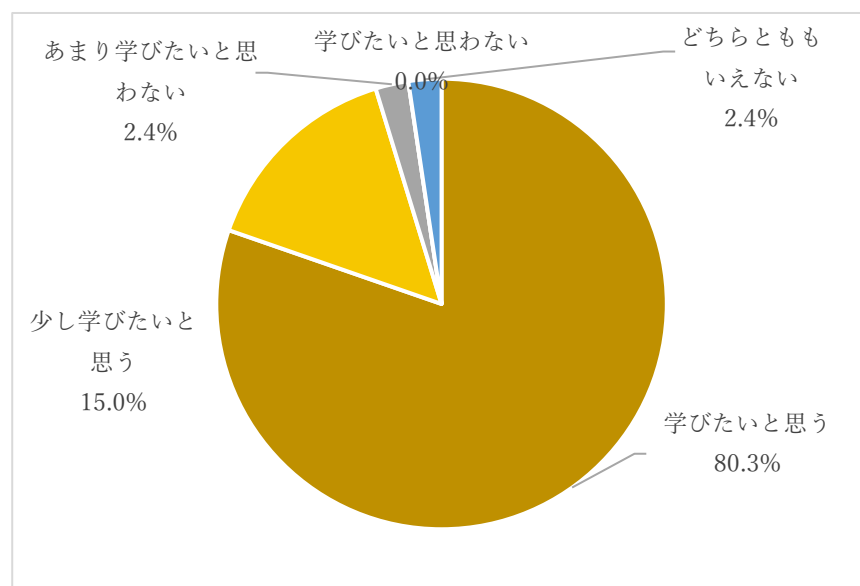
アンケート回答数 127名

* 設問(6) 自由記入欄は全て巻末に示す

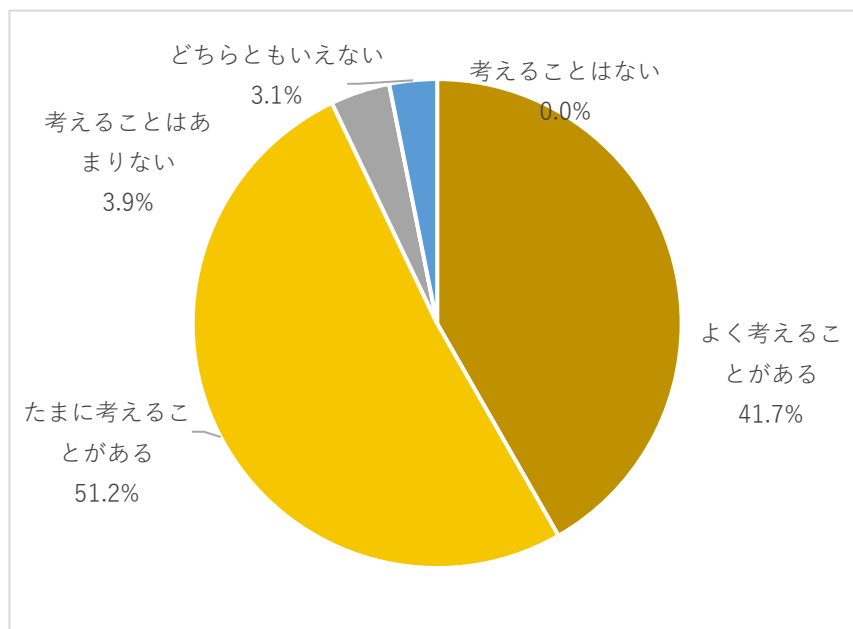
(1) 今日の授業の内容はこれからの学習や卒業した後、役に立つと思いますか。



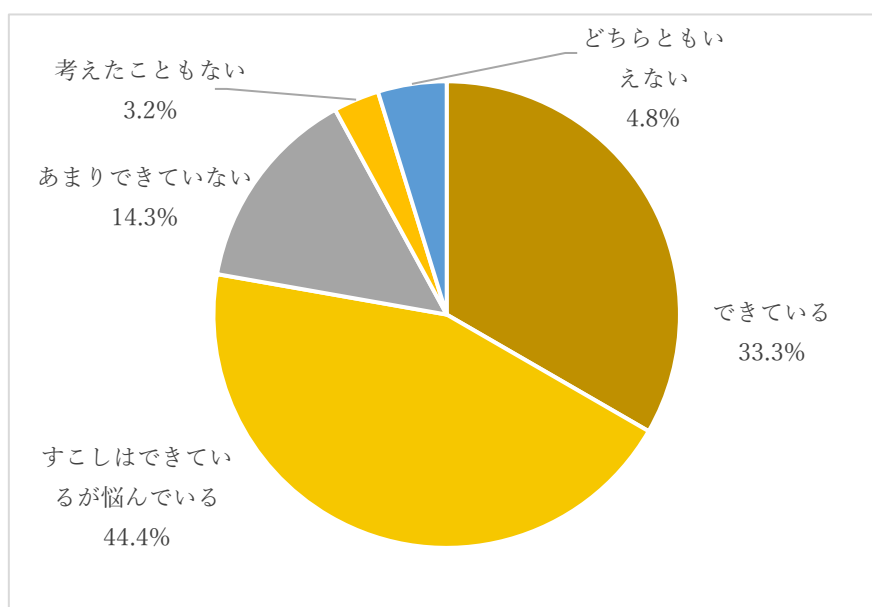
(2) 就職や進学など将来の進路について、学びたいと思いますか。



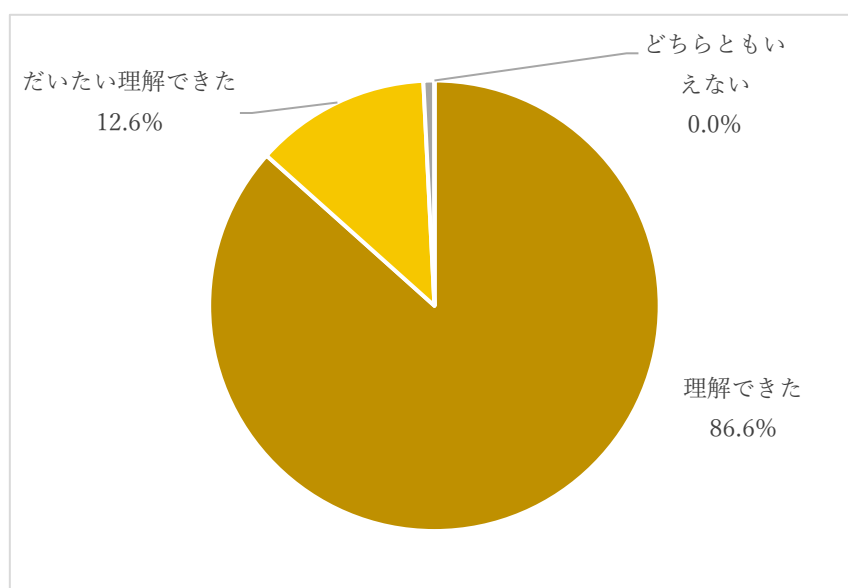
(3) 就職・進路など高等学園を卒業した後の自分の進路について、もっともあてはまるものはどれですか。



(4) 就職・進学など高等学園を卒業した後の自分の進路が具体的にイメージできていますか。



(5) 授業の内容は理解できましたか。



(6) 授業の内容など、感想をお聞かせください。*

6.2. 高等部・高等学園間の連携支援の実施

6.2.1. 実証講座の相互参観・意見交換の実施

高等部・高等学園同士の相互交流の促進を図るため、具体的には、実証講座に他校の教員がオブザーバーとして参観し、実施後に講座に係わる意見交換を行うなどの取り組みを通じて、教育ノウハウや知見を共有したり、相互理解を促進したりすることを検討した。さらに、こうした場を活用することで、実証講座を多角的に検証し、教育プログラムの質的向上や教育手法の改善を図ることを目的に、次年度の実施に向け検討を進めた。

6.2.2. 教職員対象の講座の実施

高等部と専門学校の連携強化、専門学校教育への理解の促進をねらいとして、高等部の教職員を対象とする講座の実施（テーマはリハビリ医療の専門的知見に基づく心身の健康管理など）について各校との協議の検討を進めた。

6.2.3. 生徒の保護者による講座の参観・保護者対象の講座の実施

生徒の保護者にも実証講座を参観してもらう機会を設定し、保護者についても教職員対象の講座と同様の講座を実施し専門学校教育への理解促進を図っていくことを検討した。

6.3. 教育プログラムの開発

6.3.1. カリキュラム策定の基本方針（2024 年度版）

カリキュラム策定の基本方針は前年度と大きな相違はないが、今年度の実証講座の実施実績を踏まえて、各校の個別ニーズなどへの柔軟な対応を方針として明記する。

- テーマごとで完結した講座を単位としてカリキュラムを構成する。
- 授業で運用しやすいように、一講座は1～3 コマ程度（1 コマ 50 分）を基本とする。
- 各学年について、計 10 講座（30 コマ）程度の講座を設定し、メニュー化する。
- 特別支援学校はこれらの講座メニューから、各校が必要と判断する講座を選択する。
- カリキュラムは各校のニーズなどに応じて柔軟に対応し、講座の内容などは個別のカスタマイズ・調整を行い実施する。

6.3.2. カリキュラム（2024 年度版）

以下に 2024 年度版のカリキュラム（講座の構成と概要）を一覧で示す。

昨年度事業で策定したカリキュラムを見直し、教育ニーズや現場の状況に対応した改訂を行い、カリキュラム 2024 年度版として取りまとめた。具体的には、実証講座の検証結果を反映させるなどして講座の構成や各講座の学習目標・内容、指導方法を改善した。

講座の名称、内容、コマ数は可変とし、各校の要望などに応じてカスタマイズして実施することも想定範囲である。また、講座の配当年次も同様で、3 年生の科目を 1 年生向けにアレンジして実施するなどのケースも想定としている。

以下の表では、さまざまな職業に共通する内容、特定の職業の基礎的・導入的な内容の講座である。

図表 6-2 カリキュラム

学年	講座名	コマ数
1 年生	(1) いろいろな職業を知ろう モノをつくる仕事、モノを売り買いする仕事、サービスする仕事の内容とその職種について学習する。	1～3
	(2) 働くことについて考えよう なぜ、私たちは働くのか。そんな問いかけから、働くことの目的や意義について考えを深める。これにより、将来に向けた職業意識を養う。	1～3
	(3) 社会のしくみを知ろう 職業という視点から、社会がどのようなしくみで成り立ち、動いているのかを学ぶ。その社会の中でいろいろな職業がどのような役割を果たしているのかを学習する。	1～3
	(4) 自分自身を管理しよう 自己管理とはなにか、その目的や大切さ、具体的な方法について学習する。	1～3
	(5) 健康管理をしよう 身体の状態（バイタル管理）を理解し、自分で健康管理ができるように学習する。	1～3
	(6) メンタルヘルスとは何かを学ぼう 心と身体の仕組みを理解し、心と上手に向き合っていく方法について学習する。	1～3
	(7) スポーツ関連を楽しもう 運動の基礎を理解し、トレーニング方法やケガ予防・対処方法について学習する。	1～3
	(8) インターネットをじょうずに活用しよう 検索エンジン Google を活用して、生活や学習に必要な情報を入手し利用するための方法について学習する。	1～3
	(9) ネットのトラブルに巻き込まれないように注意しよう ネットで人をだます詐欺の内容を学び、その被害を受けないための具体的な方法について学習する。	1～3
	(10) 情報モラルとは何かを学ぼう	1～3

	SNS や電子メールなどを使う際のマナーや注意すべき点について学習する。	
	(11) パソコンを活用しよう (ワープロ) Word のさまざまな機能を活用して文書を作成する方法を学習する。	1～3
	(12) ビジネスマナーとは何かを学ぼう A 身だしなみ、表情、あいさつなどビジネスマナーの基礎について学習する。	1～3
	(13) 介護職ってどんな仕事か体験してみよう 介護職の仕事内容について、車椅子の体験なども織り交ぜて学習する。	1～3
2 年生	(1) キャリアデザインとは何かを学ぼう A～自分のことを知ろう これまでの自分を振り返りながら、自分自身についての理解を深める。	1～3
	(2) キャリアデザインとは何かを学ぼう B～なりたい自分を考えよう 自分が興味を持っていることややってみたいと思っていることなどから、将来なりたい自分について考えを深める。	1～3
	(3) ビジネスマナーとは何かを学ぼう B 会社訪問や来客への対応などビジネスマナーの基礎について学習する。	1～3
	(4) ビジネスマナーとは何かを学ぼう C 電話対応、電子メールでの対応などビジネスマナーの基礎について学習する。	1～3
	(5) 健康管理をしよう 体重管理 (ダイエット)、筋力向上、維持についての基礎を学習する。	1～3
	(6) メンタルヘルスを学ぼう 精神的なストレスや悩みとの向き合い方や、それを解消する方法について学習する。	1～3
	(7) スポーツ関連を楽しもう 筋力トレーニング、持久力トレーニングの基礎を演習で学習する。	1～3
	(8) 部活を楽しもう 運動系の部活で怪我をしないための準備運動や冬場の体力づくりについて学習する。	1～3
	(9) 介護職の仕事を学ぼう 介護職を希望する生徒を対象とする講座。介護の仕事の内容や働きがいについて学習する。将来の進路選択のための基礎知識を学ぶ。	1～3
	(10) 販売ってどんな仕事か学ぼう 販売を希望する生徒を対象とする講座。販売の仕事の内容や働きがいについて学習する。将来の進路選択のための基礎知識を学ぶ。	1～3

	(11) パソコンを活用しよう（表計算） Excel のさまざまな機能を活用して、データを集計・加工する方法を学習する。	2～6
3 年生	(1) 将来のことを考えよう～ライフデザイン 将来、どのような生活を送っていきたいか、自分自身の考えを深める。	1～3
	(2) 就職活動で大切なことを学ぼう 就職活動を行う上で心がまえや注意しておくべき点などについて学習する。	1～3
	(3) 自己を PR しよう 就職面接に向けて、自分自身を PR するための方法を学び、その実践について学習する。	1～3
	(4) 社会人の心がまえを学ぼう 社会人、職業人としての心がまえ、求められる姿勢などについて学習する。	1～3
	(5) 余暇生活を考えよう 余暇活動の大切さについて学び、余暇生活を送っていきたいかについて考えを深める。	1～3
	(6) お金のじょうずな使い方を学ぼう 日々の生活の中で、じょうずにお金を使い、やりくりしていくための方法について学習する。	1～3
	(7) お金のトラブルに巻き込まれないために注意しよう 詐欺やお金の貸し借りをめぐるトラブルについて学び、お金に関する被害に巻き込まれないための具体的な方法について学習する。	1～3
	(8) 健康管理をしよう 自分の健康管理を実践して、記録ができるように学習する。	1～3
	(9) メンタルヘルスを学ぼう 自分にあったメンタルヘルスを実践し、日々の生活に活かせるように学習する。	1～3
	(10) スポーツ関連を楽しもう 自分の目的に沿ったトレーニング方法や手段を選択しながら学習する。	1～3
	(11) ビジネスコミュニケーションを学ぼう 報告・連絡・相談など仕事を進めていく上で必要となるコミュニケーションの実践について学習する。	1～3
	(12) パソコンを活用しよう（プレゼンテーション） PowerPoint のさまざまな機能を活用して、プレゼンテーション資料を作成する方法を学習する。	1～3
	(13) 介護の仕事を体験しよう 高齢者に対する生活支援の実践を通して、介護福祉という仕事への理解を深める	3～6
	(14) 販売の仕事を体験しよう 商品販売の実践を通して、販売という仕事への理解を深める。	3～6

専門学校 1 年生	(1) 職業人として知っておきたいこと 働くことの基本概念や役割について学び、重要性を理解する。	3
	(2) 職業人としての心構えを持とう 職業人に必要なマインドセットや倫理観について学ぶ。	3
	(3) 自分に向いている職を見つけよう その仕事に向いている自分の資質や能力を見つけ、自分の強みや弱みを理解する。	3
	(4) コミュニケーションスキルを高めよう 共に働くメンバーとの効果的なコミュニケーション方法を学ぶ。	3
	(5) 職場の環境を知ろう 実際の職場の様子や、仕事の流れを学び、職業の実態を理解する。	3
2 年生	(1) 高度な技術を習得しよう 専門的な技術を学び、応用的なスキルを習得する。	3
	(2) リーダーシップとチーム管理を学ぼう リーダーシップスキルやチーム管理の方法を学び、介護現場でのリーダーシップを発揮する。	3
	(3) 職場に向けた心構えを持とう 職場での心構えや、実際の職場で必要なスキルや知識を深める。	3
	(4) キャリアアップの方法を学ぼう 職業人としてキャリアアップするための方法や、自己啓発の重要性について学ぶ。	3
	(5) キャリア準備を整えよう 就職活動のサポート、面接の準備と練習、履歴書と職務経歴書の作成方法を学ぶ。	3

6.3.3. 教材開発の基本方針

●開発教材をベースとして、各校の要望・生徒の個性に応じてアレンジして活用

開発する教材を次年度「そのまま」利用してもらう想定だけではなく、これをベースとして、各校の要望等を取り入れアレンジして利用する、あるいは、開発教材を素材の1つとして各校と検討し、新たに教材を開発することも想定範囲とする。その意味で、次年度の職業教育プログラムの実施に向けた検討・具体化も視野の範疇として開発している。

6.3.4. 開発教材の概要

昨年度の事業で開発した、社会生活教育及び職業キャリア教育の各領域に対応した、高等部 3 年生向けの教材を改訂し、専門学校 1 年生向けの教材を開発した。開発教材について以下に示す。

6.3.4.1. 社会教育教材の改訂

在学時だけでなく卒業後の生活をも見据えて、自立した社会人として生活していく上で必要となる知識や技能、ものごとの捉え方や考え方などについて学習する社教材を開発した。前年度開発の「ライフスタイル・ライフデザイン（人生設計）」、「金銭管理」「デジタル社会のリテラシー」教材に、支援学校高等部、高等学園との意見交換によって得た要望をもとに、節ごと学んだことを振りかえることができるチェックシートを追加する等改訂を行った。

図表 6-3 改訂ページの一部抜粋

第1章: ライフスタイルのきほん

1.1 ライフスタイルって何？

ライフスタイルの意味
ライフスタイルが大切なの？
ライフスタイルの「せど」になるのは？
ライフスタイルを見つける
おことを見つけてよう
お楽しみや決まってることを見つけてよう

第1章: ライフスタイルのきほん 1.2 自分のライフスタイルを見つける

自分のライフスタイルを見つける

自然が大好き
健康が一番
しごと中心
スタイルが合うだろう？

第1章: ライフスタイルのきほん 1.2 自分のライフスタイルを見つける

日々の楽しみや、決まってることを見つけてよう

毎日の習慣
GOOD!

では、毎日決まってることの中でなにが楽しいか、どんなことが好きか考えてみましょう。

例えば、毎日の歯磨きや、歯磨きの後に顔を洗うことなどの習慣も、毎日にわたり丁寧に磨いたり、道具にこだわって磨いたりするのはどうでしょう。

毎日に磨く方法の発見や、楽しいグッズに興味があればいいですね。

楽しみや習慣を見つけるのも簡単に楽しみが見つかる第一歩です。中で、ちょっとしたことや、好きなことを見つけることから始めてみましょう。

+ 節が終わる毎に理解できたかを振り返るチェックシートを追加挿

チェックシート

第1章: ライフスタイルのきほん 1.2 自分のライフスタイルを見つける

Q.自分のライフスタイルはどのようにして探すとよいでしょうか？

- 1.他の人とまったく同じ生活をする。
- 2.好きなことや気になることを見つける。
- 3.何も考えずに適当に過ごす。
- 4.きらいなことをとことんする。

ここまで、自分のライフスタイルを見つける方法について紹介しました。では、自分のライフスタイルはどのようにして探すと良いかを考えてみましょう。

- 1.他の人とまったく同じ生活をする。
- 2.好きなことや気になることを見つける。
- 3.何も考えずに適当に過ごす。
- 4.きらいなことをとことんする。

解答ページ

第1章: ライフスタイルのきほん 1.2 自分のライフスタイルを見つける

Q.自分のライフスタイルはどのようにして探すとよいでしょうか？

- 1.他の人とまったく同じ生活をする。
- 2.好きなことや気になることを見つける。
- 3.何も考えずに適当に過ごす。
- 4.きらいなことをとことんする。

ここまで、自分のライフスタイルを見つける方法について紹介しました。では、自分のライフスタイルはどのようにして探すと良いかを考えてみましょう。

- 1.他の人とまったく同じ生活をする。
- 2.好きなことや気になることを見つける。
- 3.何も考えずに適当に過ごす。
- 4.きらいなことをとことんする。

6.3.4.2. 職業キャリア教育（就職活動実践）教材

社会で自立するために必要な金銭管理の基本を見据え、実践することを目指して、お金の基本から、使い方や買い物のテクニック、インターネットショッピングの利用法、そして契約トラブルへの成功対処法までを含めて解説し、生徒たちの将来に向けて賢明な経済的意思決定を支援することを目的とする。

図表 6-4 改訂ページの一部抜粋

第4章: 面接に備えよう 4.2 良い印象を作る方法

どんな言葉（ことば）づかいが正しい？

友達と話すような言葉づかいで、親しみやすさをアピールする。

どちらでしょう？

問題です。面接では、友達とはなすような言葉づかいで、親しみやすさをアピールする。
○か×どちらでしょう。

第4章: 面接に備えよう 4.2 良い印象を作る方法

どんな言葉（ことば）づかいが正しい？

「です・ます調」で話し
はっきりとした声でゆっくり伝えましょう。

正しいのは、はつです。
「マジで」「やばい」などのカジュアルな言葉は面接にふさわしくありません。
面接では、丁寧な言葉づかいを心がけましょう。
「です・ます調」で話し、はっきりとした声でゆっくり伝えることで、相手に聞き取りやすくなります。

一部に節に
○×形式を追加挿

6.3.4.3. 職業キャリア教育（進学）教材

特別支援学校高等部を卒業後の進路のひとつとして、介護福祉をはじめとする専門学校への進学を想定し、介護という仕事への理解、仕事に就くための心構えおよび自己管理を促すための教材を、専門学校1年生向けに以下の構成で開発した。

対 象： 特別支援学校から介護福祉の専門学校へ進学した学生 1年生

コマ数： 1講座 3コマ程度

（講座数は支援学校高等部及び高等学園の状況・要望等による）

仕 様： 印刷教材（PPT） 全82ページ（全4章）

動画教材 約80分（各章約20分×4本）

内 容：段階的に理解を深めるために、第1章では総括的な概念を学び、第2章以降でよ

り詳しく内容を説明していく構成とした。

図表 6-5 介護の仕事につくということ 全4章（目次）

第1章：介護の仕事 1. 介護の仕事とは 介護の仕事の基本 介護の種類と役割 介護の1日 2. 介護の社会的意義 高齢化社会と介護の大切さ 介護の社会への貢献 地域とのつながり 3. 介護の仕事と健康 体の健康管理 心の健康を保つ方法 ストレス管理とリラクゼーション 4. 介護の仕事と資質 基本的な介護スキル 専門知識の習得 コミュニケーション能力 5. 介護の仕事への心構え 介護職としての使命感 継続的な学びとやる気 自己肯定感を高める方法	第2章：介護の仕事と健康 1. 体と心の健康管理 どうして介護の仕事に健康が大切なのか バランスの取れた食事と運動 十分な休息と睡眠 ストレスの対処法 2. 健康的な働き方 安全な体の使い方 仕事中の休息とリフレッシュ 職場の健康チェック オンとオフの使い分け 3. 周りの人の健康サポート 利用者の健康管理 家族の健康サポート 仕事仲間との協力 体と心の健康を保つための工夫	第3章：介護の仕事と資質 1. 基本的な介護スキル 基本的な介護技術 身体介助の方法 緊急時の対応 安全な体の使い方 2. 専門知識と情報管理 介護に関する法律や倫理 医療との連携方法 認知症ケアの知識 情報とデジタルツールの活用 3. コミュニケーション能力と時間管理 利用者との効果的なコミュニケーション 家族との連携方法 チームメンバーとの協力 仕事の優先順位をつける方法	第4章：介護の仕事への心構え 1. モチベーションの維持 目標設定とやる気の関係 小さな成功を感じる方法 ストレス管理 2. 自己肯定感を高める方法 ポジティブな心の持ちよう 前向きな考え方を持つための工夫 日常の中でのポジティブな習慣 3. サポートシステムの活用 チームや家族の支援を受ける方法 専門家やカウンセリングの活用 サポートグループやコミュニティの活用
---	--	---	---

図表 6-6 介護の仕事につくということ（スライドより一部抜粋）

The image displays a series of overlapping pages from a textbook, primarily in Japanese. The main title visible is '第1章: 介護の仕事' (Chapter 1: Care Work). The pages contain the following text and illustrations:

- Page 1 (Top Left):**
 - だいしょうかいごと
 - 第1章: 介護の仕事**
 - 1.1 介護の仕事とは
 - 1.1.1 介護の仕事とは
 - 1.1.2 介護の仕事とは
 - 1.1.3 介護の仕事とは
 - 1.2 介護の社会的意義
 - 1.2.1 介護の社会的意義
 - 1.2.2 介護の社会的意義
 - 1.2.3 介護の社会的意義
 - 1.3 介護の仕事と地域
 - 1.3.1 介護の仕事と地域
 - 1.3.2 介護の仕事と地域
 - 1.3.3 介護の仕事と地域
- Page 2 (Middle Left):**
 - 介護の仕事に就く第1章 介護の仕事とは
 - 介護の仕事とは、日常の中で、利用者さんや介護者の生活を支えること、利用者さんの気持ちや生活の困りごとを解決すること、利用者さんとコミュニケーションを図ること、そして、利用者さんの生活の質を向上させることである。
- Page 3 (Middle Right):**
 - 第1章: 介護の仕事 1.1 介護の仕事とは
 - Q. 介護の仕事とは、どんな仕事でしょうか？**
 - 1. お年寄りや体が不自由な人が自分らしく暮らせるように手伝える仕事
 - 2. 病気やけがをした人を治療する仕事
 - 3. 子供たちが楽しく生活できるようにサポートする仕事
 - 4. 動物を助ける仕事
- Page 4 (Bottom Left):**
 - 第1章: 介護の仕事 1.1 介護の仕事とは
 - Q. 介護の仕事とは、どんな仕事でしょうか？**
 - 1. お年寄りや体が不自由な人が自分らしく暮らせるように手伝える仕事
 - 2. 病気やけがをした人を治療する仕事
 - 3. 子供たちが楽しく生活できるようにサポートする仕事
 - 4. 動物を助ける仕事
- Page 5 (Bottom Right):**
 - 第1章: 介護の仕事 1.2 介護の社会的意義
 - 地域（ちいき）の人とのつながり**
 - 介護を必要としているお年寄りの方の中には、住み慣れた場所・地域で暮らしたいと願う人もいます。住み慣れた地域での人との交流を通じて、お年寄りが社会とつながりをもち孤立を防ぐことができます。
 - また、地域にはいろいろな施設があり専門家がいます。役所や病院、学校、ボランティア団体などの協力をえることで、利用者さんにもっと多くのサポートを提供することができます。
 - また、地域社会とつながることで、介護をする側も助けを受けやすくなります。同じような悩みを持つ介護の仲間や地域の専門家との情報交換ができました。
 - 地域の人たちとつながりを持って、協力しながら介護の仕事をするのはとても大切です。

6.3.5. 教材開発の意義・活用方策

開発教材はいずれも高等部のニーズや要望等をもとに企画されている。

例えば、「デジタル社会を知る」は、学校教育において ICT 活用が急速に加速している中、情報モラル教育の実施が不可欠となっている現状への対応がねらいである。

また、「ライフスタイル・ライフデザイン」も、学校卒業した後の将来について生徒一人ひとりに考えてもらうきっかけを提供する教材だが、ライフスタイルやライフデザインに係わる教育への要望に応えようとするものである。

本事業で、このような教材を開発する意義は、生徒の多様な個性や教育ニーズへの対応を図ること、これにより高等部における職業キャリア教育の一層の充実化に貢献することである。

近年、キャリア教育の取り組みは活発で、そこで利用可能な市販テキスト、公的機関などによる無償テキストなども多数作られている。しかしながら、その多くは知的障害者を対象として想定しておらず、そのままでは利用が難しいものも少なくない。こうした現状への対応も教材開発に取り組む意義と考えている。

本事業で開発した教材はいずれも、そのまま利用することだけを想定していない。一部分を抜き出したり、組みあわせや順序を変更したり、部分的な内容を変更したりするなど、対象者やニーズに応じたカスタマイズも想定している。こうした自由度の高さは教材の活用の幅の拡大につながるものとなる。

今年度事業で開発した教材は、次年度以降の実証講座で活用を検討していく。また、これらは広く全国の特別支援学校高等部に公開していくので、利用したいという学校があれば、活用支援を展開していく考えである。

6.4. 学習支援・教育支援環境の構築

過去 3 年間及び今年度の事業の開発成果である e ラーニング教材、C B T コンテンツを活用した学習・教育を支援する環境をインターネット上に整備した。新たに開発した教材を過去に開発・改善を重ねてきたコンテンツに追加し、授業以外でも生徒は自主的に学習ができ、教員は遠隔で学習状況が把握できるシステムとなっている。

図表 6-7 学習・教育支援環境のトップ画面（一部）



また、各校に対してカスタマイズされた教材や資料などを専門学校と支援学校高等部・高等学園の教職員が共有できるしくみ「教材ライブラリ」も整える。これにより、本事業で開発される教材を資産化し、各校での有効活用を図っていく。将来的には、これを外部にも公開し、事業成果の普及促進につなげていく。

対面授業以外での学習・教育の機会を増やし、生徒の多様な個性に対応していくことがねらいである。この支援環境を活用することで、高等部・専門学校という物理的・空間的な枠を超えて。教員が生徒の学習状況を確認することが可能となり、より密接な高専連携の促進も見込まれる。

■ 卷末資料

令和 6 年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

知的障害特別支援学校高等部と専門学校の有機的連携の開発と実証

事業成果報告書

発行者 学校法人仙台北学園 仙台リハビリテーション専門学校

発行日 令和 7 年 3 月